

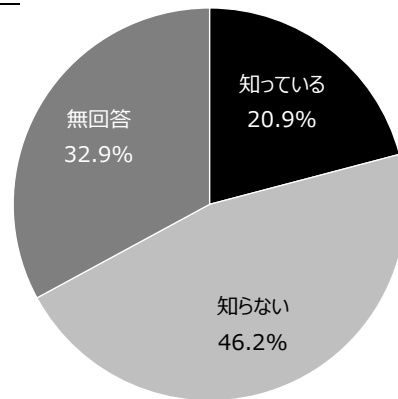
13. 児童・青少年資料サービス

【問 12 この図書館では、児童書、中高生向けの資料、児童書に関する研究書などの資料の提供や相談の受付・回答などの「児童・青少年資料サービス」を行っています。このサービスについてお答えください。】

【問 12-(1) 児童・青少年資料サービスを知っていますか。】

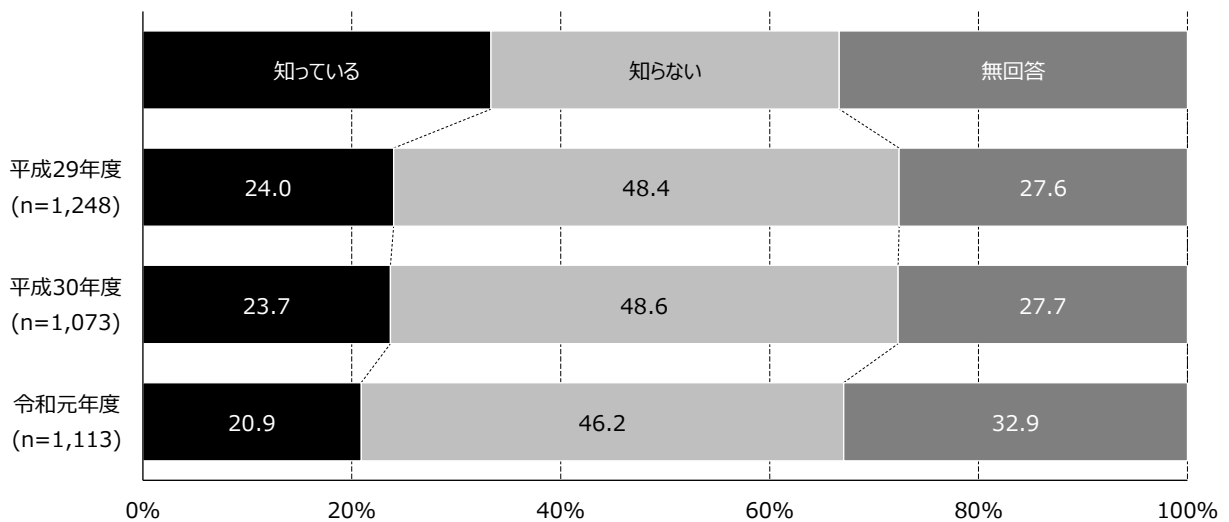
■表 13.1 『児童・青少年資料サービスの認知』件数割合

	件数	割合
知っている	233	20.9
知らない	514	46.2
無回答	366	32.9
全体	1,113	100.0

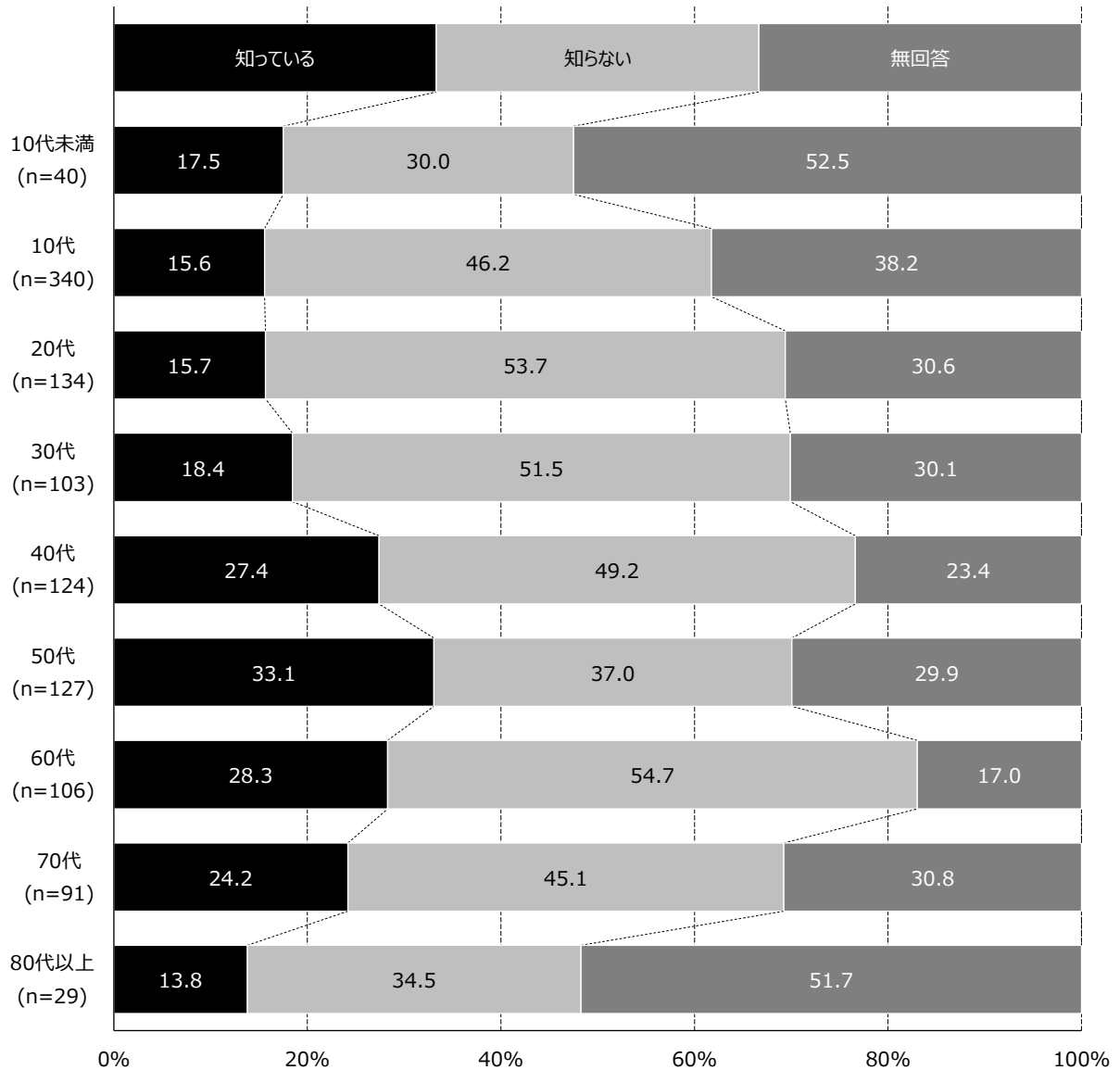


グラフ 13.1

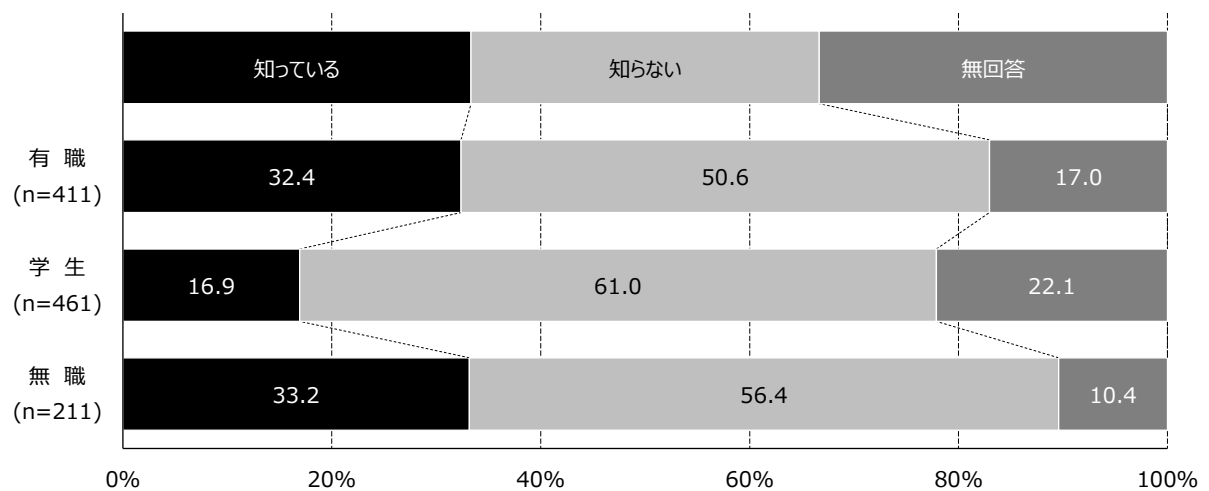
■グラフ 13.2 『児童・青少年資料サービスの認知』過年度割合



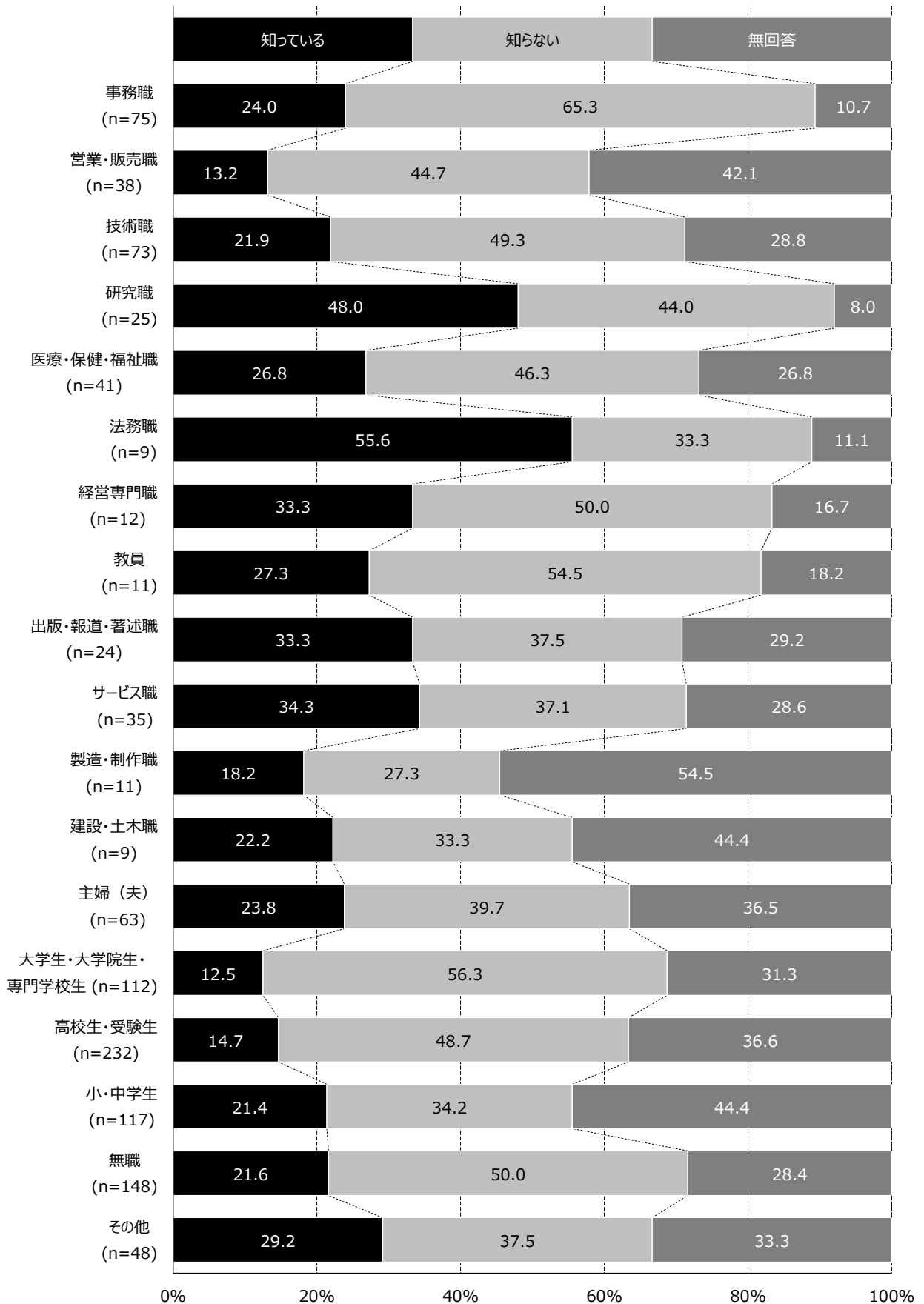
■グラフ 13.3 『児童・青少年資料サービスの認知』年齢割合



■表 13.4 『児童・青少年資料サービスの認知』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■グラフ 13.5 『児童・青少年資料サービスの認知』職業（18分類）割合



- 「児童・青少年資料サービス」の認知について

「児童・青少年資料サービス」の認知については、「知らない」が 514 件・46.2%、「知っている」が 233 件・20.9%と認知度が低くなっている（表 13.1、グラフ 13.1）。

過年度比較でみると、平成 29 年度からは 3.1%の減少、平成 30 年度からは 2.8%の減少をみている（グラフ 13.2）。

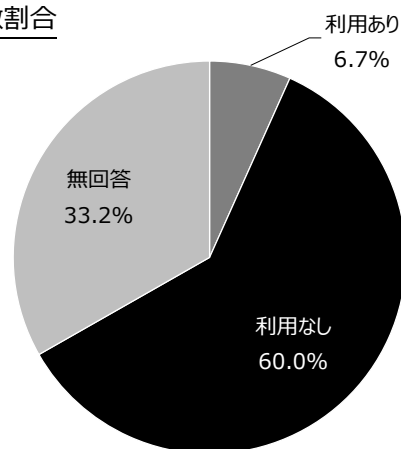
年齢別でみると、「50 代」の 33.1%の割合が最も高く、「80 代以上」の 13.8%の割合が最も低かった。「20 代」未満の年齢では認知度は低かった（グラフ 13.3）。

職業 3 分類でみると、「無職」の 33.2%の割合が最も高く、「学生」が 16.9%で最も低かった（グラフ 13.4）。

【問 12-(2) 児童・青少年資料サービスを利用したことがありますか。】

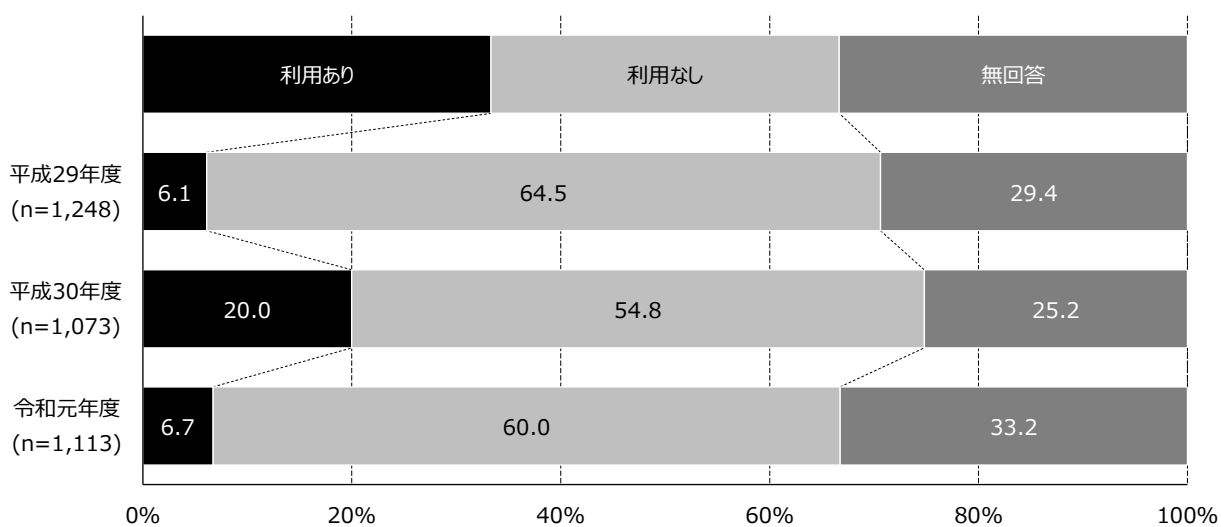
■表 13.2 『児童・青少年資料サービスの利用有無』件数割合

	件数	割合
利用あり	75	6.7
利用なし	668	60.0
無回答	370	33.2
全体	1,113	100.0

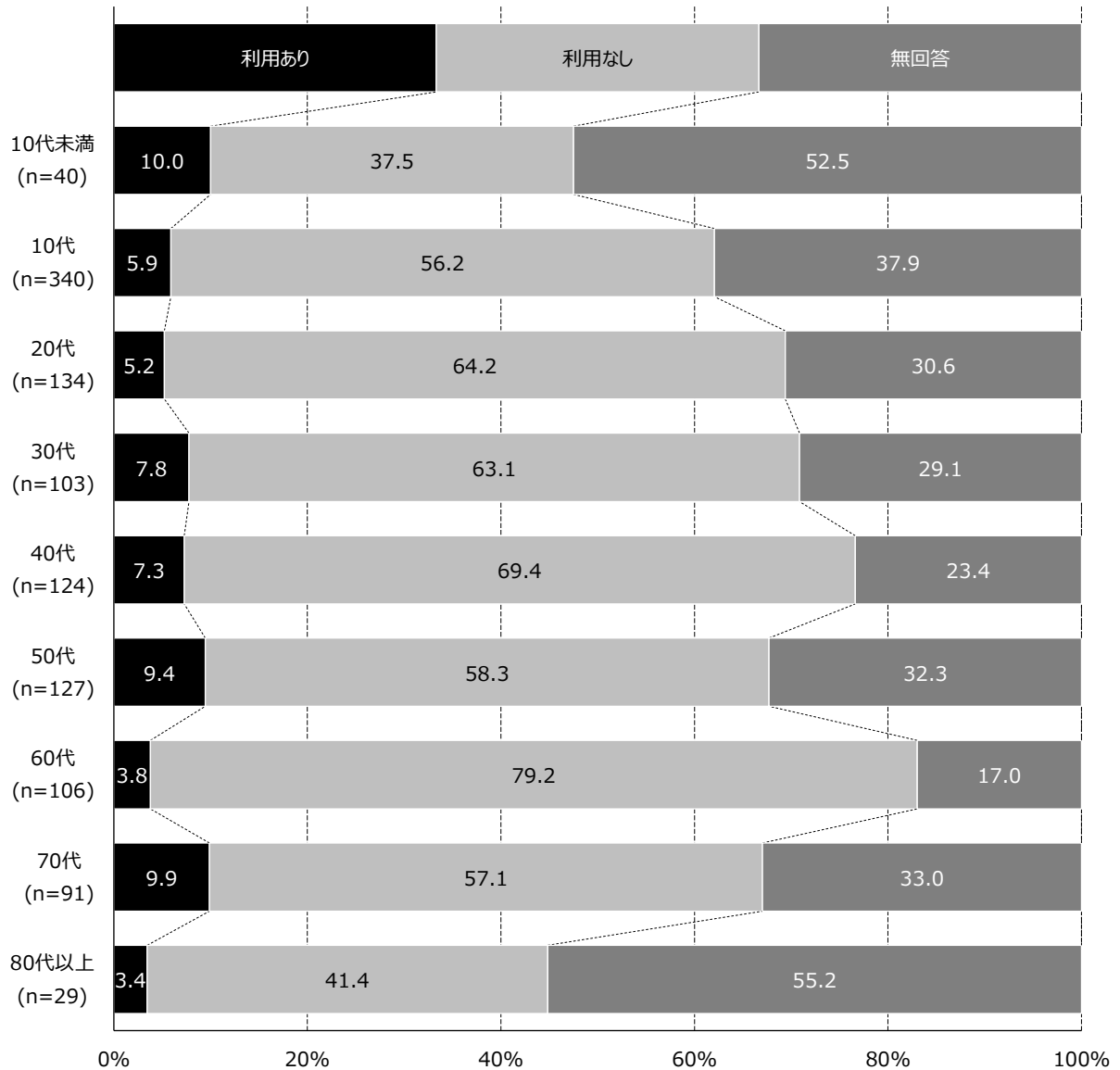


グラフ 13.6

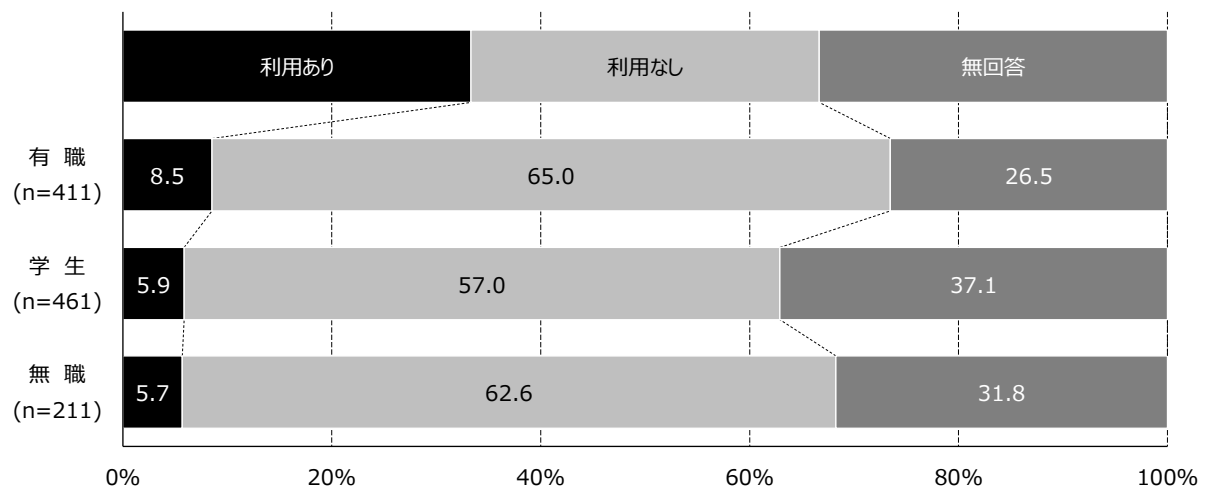
■グラフ 13.7 『児童・青少年資料サービスの利用有無』過年度割合



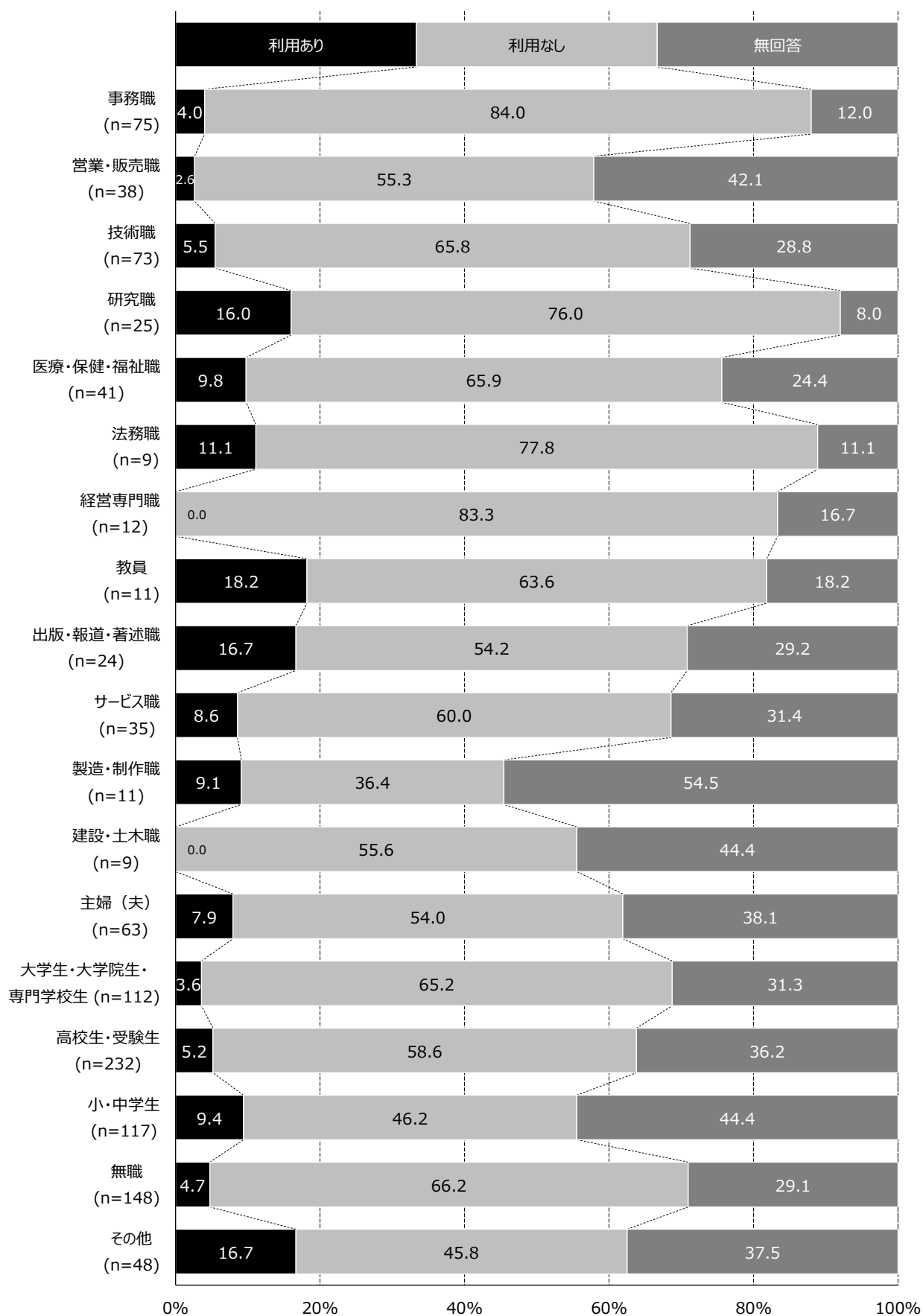
■ グラフ 13.8 『児童・青少年資料サービスの利用有無』年齢割合



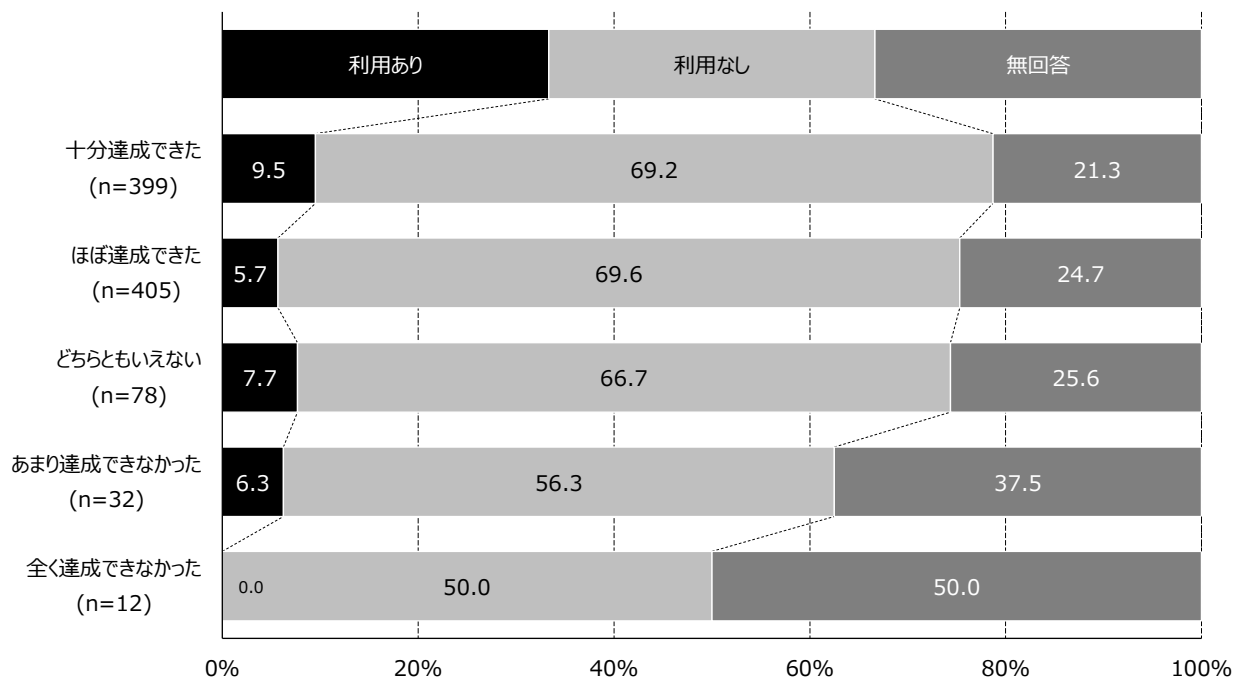
■ グラフ 13.9 『児童・青少年資料サービスの利用有無』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■ グラフ 13.10 『児童・青少年資料サービスの利用有無』職業（18 分類）割合

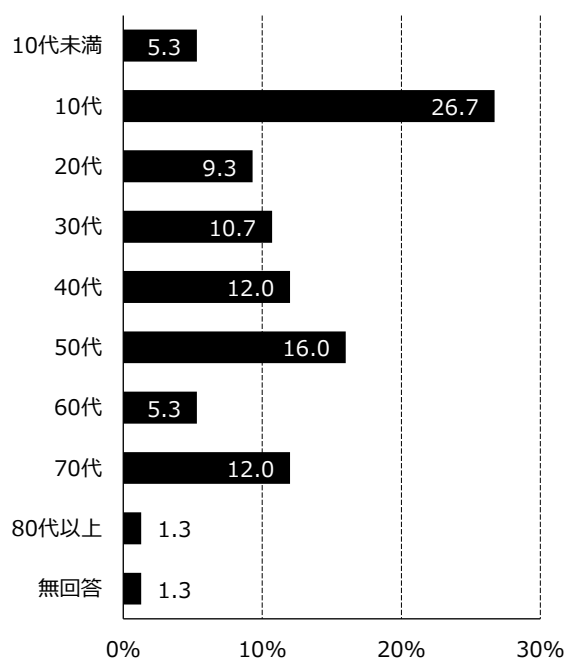


■ グラフ 13.11 『児童・青少年資料サービスの利用有無』 目的達成状況割合



■ 表 13.3 『児童・青少年資料サービスの利用あり』 と回答した方の年齢別件数割合

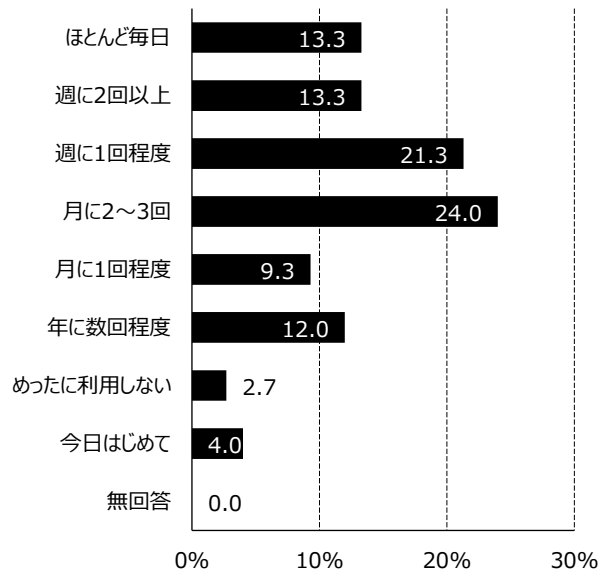
	件数	割合
10代未満	4	5.3
10代	20	26.7
20代	7	9.3
30代	8	10.7
40代	9	12.0
50代	12	16.0
60代	4	5.3
70代	9	12.0
80代以上	1	1.3
無回答	1	1.3
全体	75	100.0



グラフ 13.12

■表 13.4 『児童・青少年資料サービスの利用あり』と回答した方の利用頻度件数割合

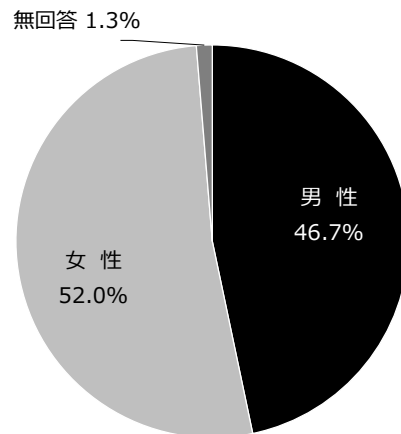
	件数	割合
ほとんど毎日	10	13.3
週に2回以上	10	13.3
週に1回程度	16	21.3
月に2~3回	18	24.0
月に1回程度	7	9.3
年に数回程度	9	12.0
めったに利用しない	2	2.7
今日はじめて	3	4.0
無回答	0	0.0
全体	75	100.0



グラフ 13.13

■表 13.5 『児童・青少年資料サービスの利用あり』と回答した方の性別件数割合

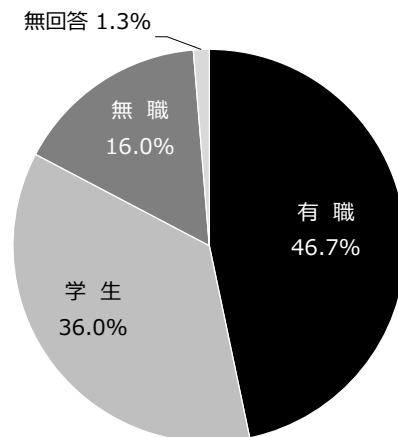
	件数	割合
男性	35	46.7
女性	39	52.0
無回答	1	1.3
全体	75	100.0



グラフ 13.14

■表 13.6 『児童・青少年資料サービスの利用あり』と回答した方の職業 (3分類: 有職・学生・無職) 件数割合

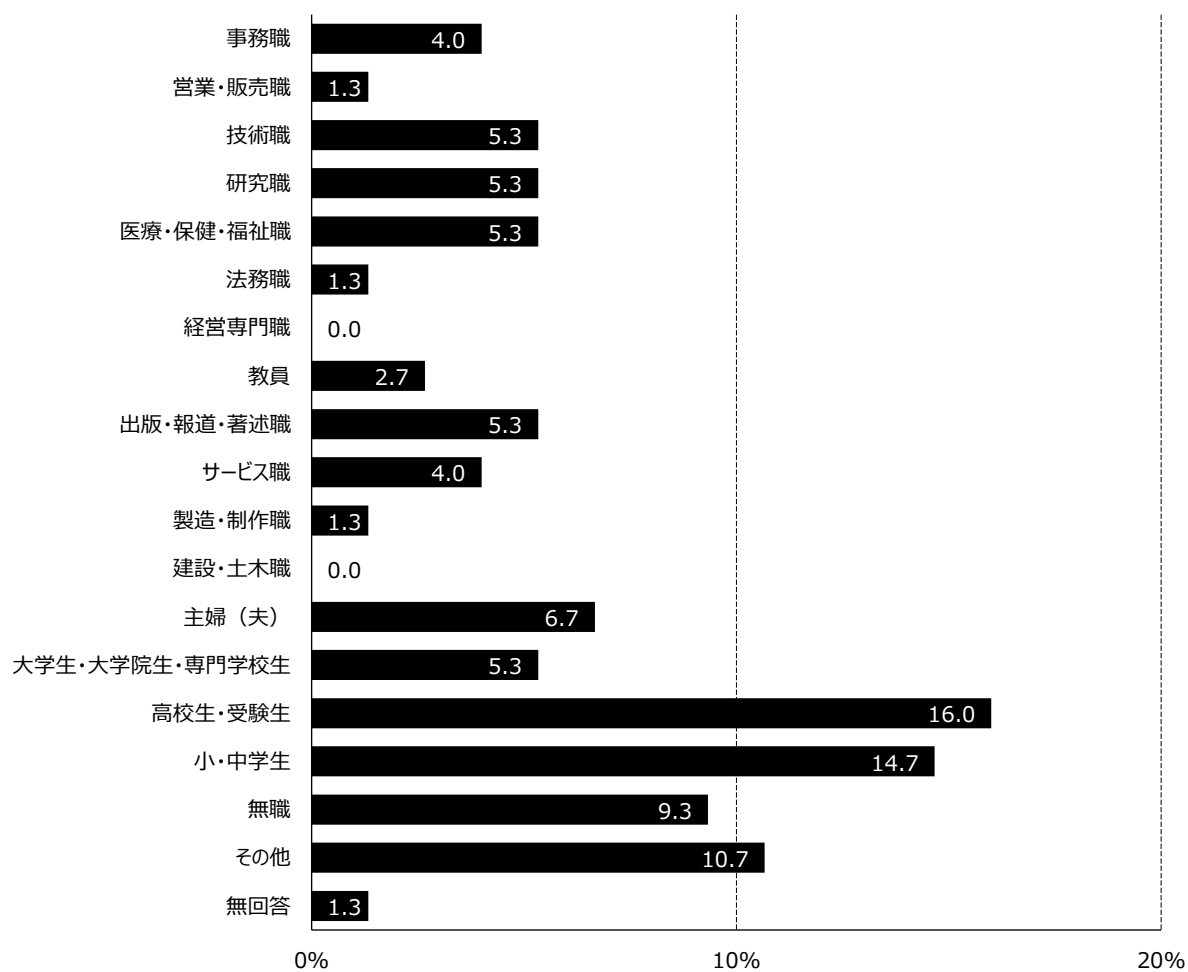
	件数	割合
有職	35	46.7
学生	27	36.0
無職	12	16.0
無回答	1	1.3
全体	75	100.0



グラフ 13.15

■表 13.7 『児童・青少年資料サービスの利用あり』と回答した方の職業（18分類）件数割合

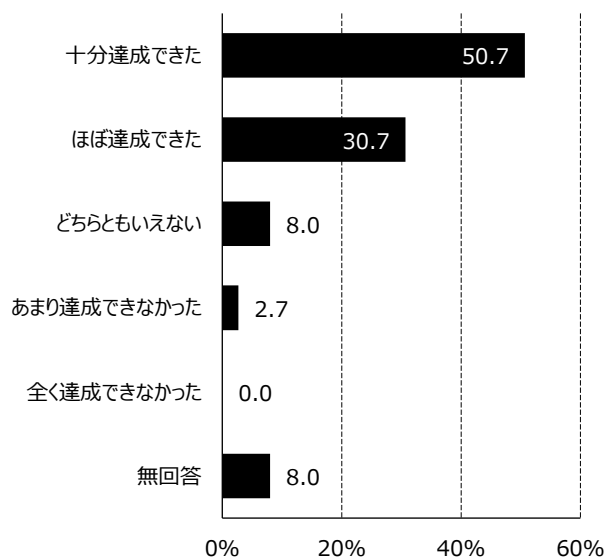
	件数	割合		件数	割合
事務職	3	4.0	製造・制作職	1	1.3
営業・販売職	1	1.3	建設・土木職	0	0.0
技術職	4	5.3	主婦（夫）	5	6.7
研究職	4	5.3	大学生・大学院生・専門学校生	4	5.3
医療・保健・福祉職	4	5.3	高校生・受験生	12	16.0
法務職	1	1.3	小・中学生	11	14.7
経営専門職	0	0.0	無職	7	9.3
教員	2	2.7	その他	8	10.7
出版・報道・著述職	4	5.3	無回答	1	1.3
サービス職	3	4.0			
全 体				75	100.0



グラフ 13.16

■表 13.8 『児童・青少年資料サービスの利用あり』と回答した方の目的達成状況件数割合

	件数	割合
十分達成できた	38	50.7
ほぼ達成できた	23	30.7
どちらともいえない	6	8.0
あまり達成できなかった	2	2.7
全く達成できなかった	0	0.0
無回答	6	8.0
全体	75	100.0



グラフ 13.17

● 「児童・青少年資料サービス」の利用について

「児童・青少年資料サービス」の利用有無については、「利用あり」が 75 件・6.7%、「利用なし」が 668 件・60.0%であった（表 13.2）。

過年度比較では、「利用なし」が、平成 29 年度から 4.5%の減少、平成 30 年度からは 5.2%の増加をみた（グラフ 13.7）。

年齢別でみると、「利用あり」の割合が最も高いのが、「10 代未満」の 10.0%となっている（グラフ 13.8）。

職業 3 分類別では、「有職」が 8.5%で割合が最も高い（グラフ 13.9）。

目的達成状況別では、「十分達成できた」が 9.5%で割合が最も高かった（グラフ 13.11）。

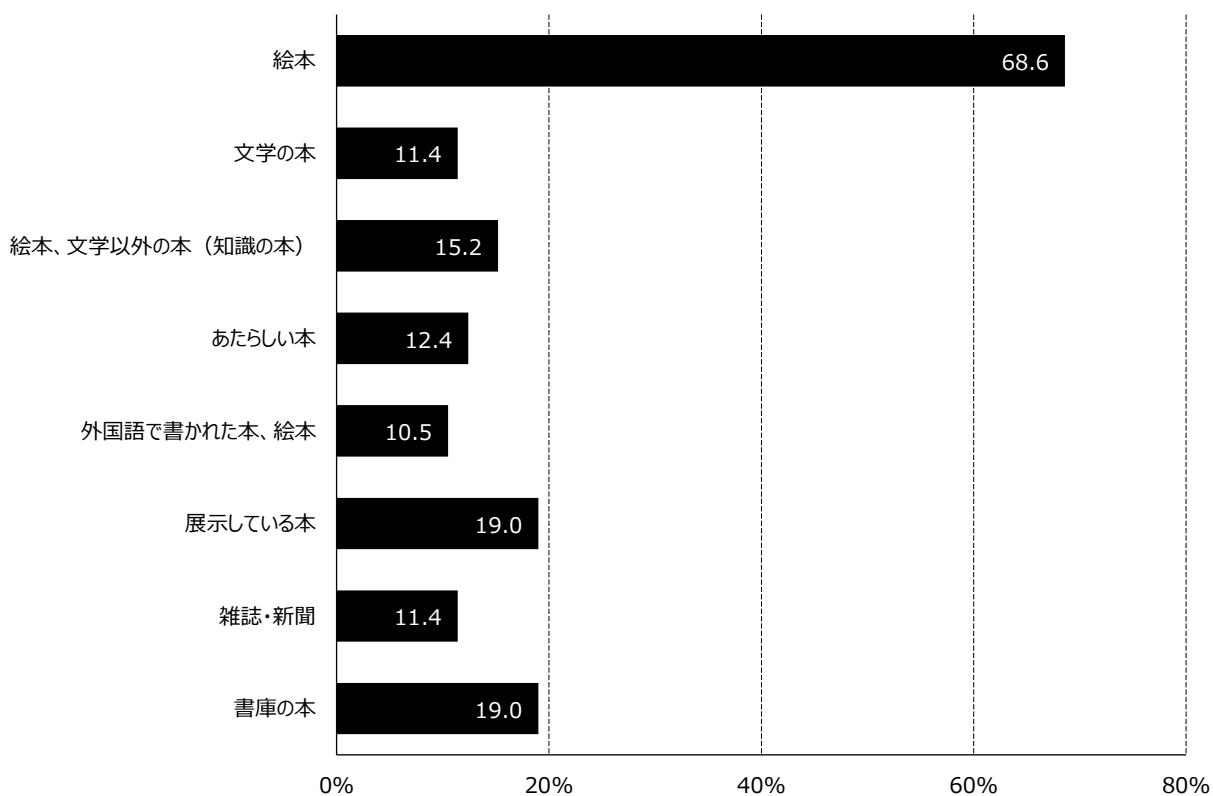
「利用あり」の回答から利用頻度をみると、「月に 2～3 回」が 18 件・24.0%と最も多く、次いで「週に 1 回程度」が 16 件・21.3%となっている（表 13.4、グラフ 13.13）。

【問 12-(3) こどものへや（えほんのこべや）の資料を利用された方にお聞きします。利用された資料はどれですか。（複数回答可）】

■表 13.9 『こどものへや（えほんのこべや）で利用した資料』件数割合

	件数	割合		件数	割合
絵本	72	68.6	外国語で書かれた本、絵本	11	10.5
文学の本	12	11.4	展示している本	20	19.0
絵本、文学以外の本（知識の本）	16	15.2	雑誌・新聞	12	11.4
あたらしい本	13	12.4	書庫の本	20	19.0
全体				176	167.6

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=105) に対する値。



グラフ 13.18

■表 13.10 『<こどものへや (えほんのこべや) > で利用した資料』年齢割合

年 齢	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)							
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本
10代未満	16	56.3	12.5	18.8	18.8	6.3	12.5	31.3	50.0
10代	18	33.3	33.3	16.7	22.2	27.8	22.2	22.2	11.1
20代	8	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
30代	17	94.1	11.8	29.4	17.6	11.8	23.5	0.0	17.6
40代	23	91.3	0.0	8.7	8.7	8.7	13.0	8.7	8.7
50代	7	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	42.9
60代	7	85.7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
70代	6	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
80代以上	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
全 体	105	68.6	11.4	15.2	12.4	10.5	19.0	11.4	19.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

※年齢の無回答は除く。

■表 13.11 『<こどものへや (えほんのこべや) > で利用した資料』職業 (3分類:有職・学生・無職) 割合

職 業	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)							
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本
有 職	50	86.0	4.0	12.0	4.0	4.0	14.0	6.0	12.0
学 生	32	34.4	28.1	21.9	21.9	21.9	18.8	25.0	28.1
無 職	20	75.0	5.0	15.0	20.0	10.0	35.0	5.0	25.0
全 体	105	68.6	11.4	15.2	12.4	10.5	19.0	11.4	19.0

※網掛けは各職業で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

※職業の無回答は除く。

■表 13.12 『<こどものへや (えほんのこべや) > で利用した資料』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)							
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本
仕事上の調査研究	11	72.7	27.3	18.2	18.2	9.1	36.4	0.0	18.2
仕事に関連した自分の勉強・自己啓発	7	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3
個人的な調査研究	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
教養・趣味のための読書	30	66.7	10.0	16.7	10.0	10.0	23.3	26.7	40.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	5	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
試験勉強	10	40.0	30.0	10.0	10.0	40.0	10.0	10.0	0.0
その他	32	87.5	6.3	18.8	18.8	6.3	18.8	6.3	6.3
全体	105	68.6	11.4	15.2	12.4	10.5	19.0	11.4	19.0

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

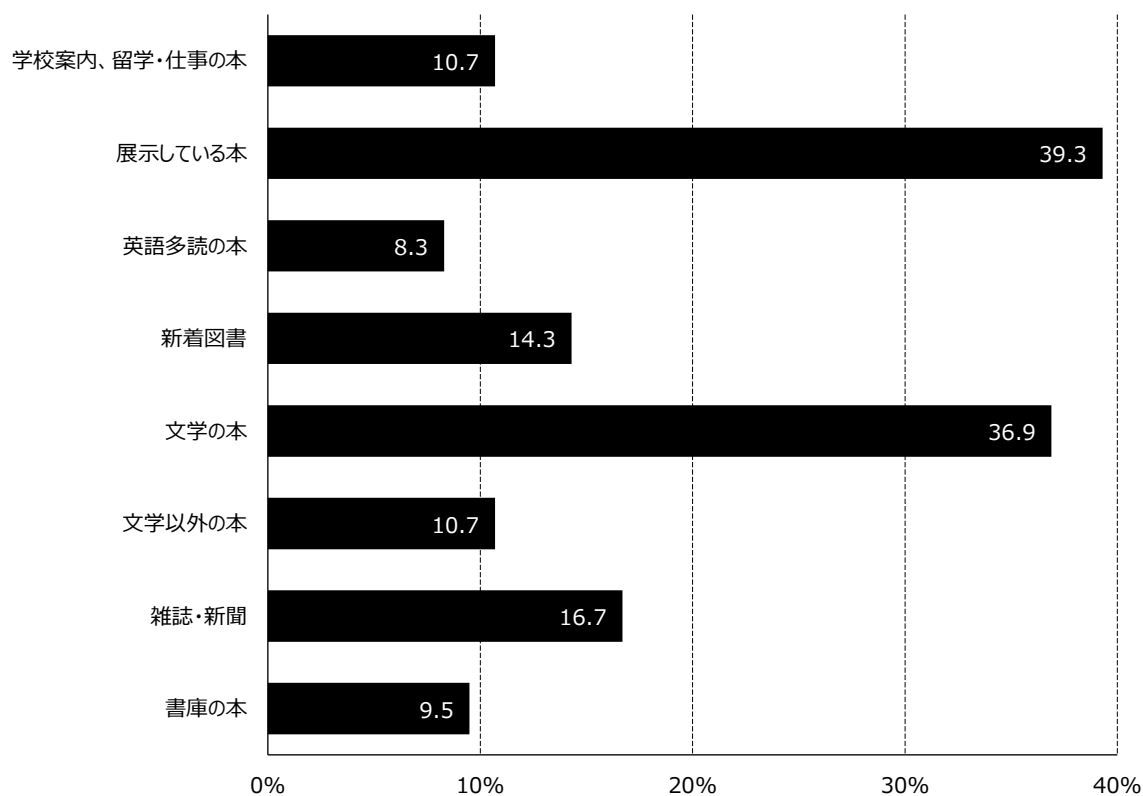
※利用目的の無回答は除く。

【問 12-(4) 青少年エリアの資料を利用された方にお聞きします。利用された資料はどれですか。
 (複数回答可)】

■表 13.13 『青少年エリアで利用した資料』件数割合

	件数	割合		件数	割合
学校案内、留学・仕事の本	9	10.7	文学の本	31	36.9
展示している本	33	39.3	文学以外の本	9	10.7
英語多読の本	7	8.3	雑誌・新聞	14	16.7
新着図書	12	14.3	書庫の本	8	9.5
全体				123	146.4

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=84) に対する値。



グラフ 13.19

■表 13.14 『<青少年エリア> で利用した資料』年齢割合

年 齢	人数 (n)	<青少年エリア> 利用資料割合 (%)							
		学校案内、 留学・ 仕事の 本	展 示 し て い る 本	英 語 多 読 の 本	新 着 図 書	文 学 の 本	文 学 以 外 の 本	雑 誌 ・ 新 聞	書 庫 の 本
10代未満	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
10代	27	18.5	18.5	11.1	18.5	55.6	14.8	18.5	11.1
20代	11	0.0	36.4	18.2	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1
30代	5	20.0	60.0	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0
40代	17	11.8	52.9	11.8	5.9	23.5	5.9	29.4	5.9
50代	5	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
60代	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
70代	9	0.0	66.7	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0
80代以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
全 体	84	10.7	39.3	8.3	14.3	36.9	10.7	16.7	9.5

※網掛けは各年齢で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

※年齢の無回答は除く。

■表 13.15 『<青少年エリア> で利用した資料』職業 (3分類: 有職・学生・無職) 割合

職 業	人数 (n)	<青少年エリア> 利用資料割合 (%)							
		学校案内、 留学・ 仕事の 本	展 示 し て い る 本	英 語 多 読 の 本	新 着 図 書	文 学 の 本	文 学 以 外 の 本	雑 誌 ・ 新 聞	書 庫 の 本
有 職	31	6.5	54.8	0.0	16.1	25.8	3.2	9.7	6.5
学 生	36	16.7	16.7	16.7	13.9	47.2	19.4	16.7	11.1
無 職	16	6.3	62.5	6.3	12.5	31.3	6.3	31.3	12.5
全 体	84	10.7	39.3	8.3	14.3	36.9	10.7	16.7	9.5

※網掛けは各職業で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

※職業の無回答は除く。

■表 13.16 『＜青少年エリア＞で利用した資料』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	＜青少年エリア＞利用資料割合 (%)							
		学校案内、 留学・ 仕事の本	展示している 本	英語多読の 本	新着図書	文学の本	文学以外の 本	雑誌・新聞	書庫の本
仕事上の調査研究	7	14.3	42.9	14.3	57.1	42.9	0.0	0.0	14.3
仕事に関連した自分の 勉強・自己啓発	13	0.0	53.8	0.0	0.0	38.5	0.0	7.7	15.4
個人的な調査研究	8	25.0	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0
日常生活に必要な知識 や情報の入手	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
教養・趣味のための読書	15	0.0	66.7	6.7	20.0	40.0	0.0	13.3	6.7
学校や大学等のレポー トや論文作成、課題学習	10	0.0	10.0	10.0	10.0	40.0	30.0	20.0	20.0
試験勉強	17	29.4	17.6	23.5	17.6	52.9	11.8	23.5	5.9
その他	10	10.0	50.0	0.0	0.0	20.0	20.0	50.0	0.0
全 体	84	10.7	39.3	8.3	14.3	36.9	10.7	16.7	9.5

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い資料。(無回答は除く)

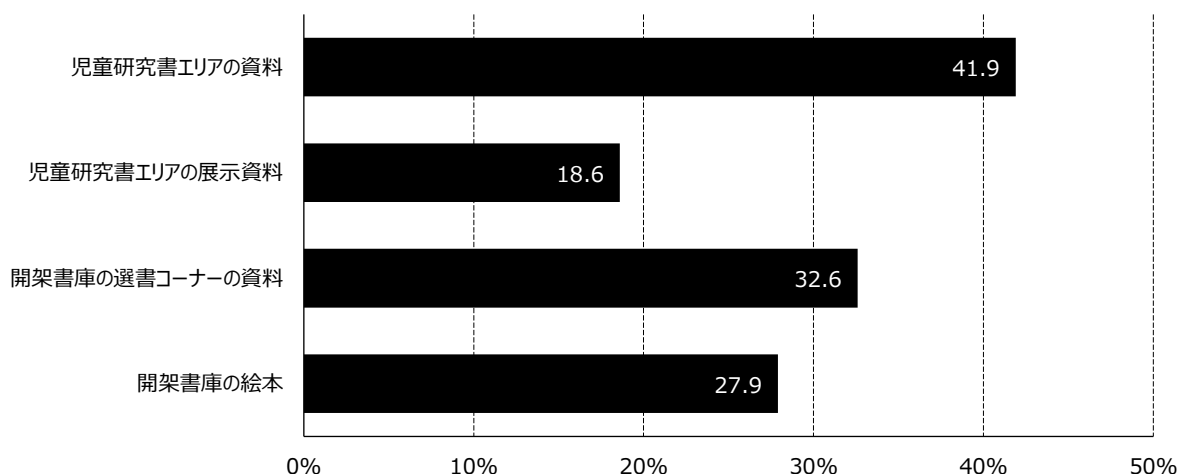
※利用目的の無回答は除く。

【問 12-(5) 児童研究書エリア・開架書庫を利用された方にお聞きします。利用した資料はどれですか。(複数回答可)】

■表 13.17 『児童研究書エリア・開架書庫で利用した資料』件数割合

	件数	割合
児童研究書エリアの資料	18	41.9
児童研究書エリアの展示資料	8	18.6
開架書庫の選書コーナーの資料	14	32.6
開架書庫の絵本	12	27.9
全体	52	120.9

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=43) に対する値。



グラフ 13.20

- 『こどものへや (えほんのこべや)』『児童青少年エリア』『研究書エリア・開架書庫』の利用資料について

こどものへや (えほんのこべや) では、「絵本」が 72 件・68.6%と最も多く、次いで「展示している本」20 件・19.0%、「書庫の本」20 件・19.0%となっている (表 13.9、グラフ 13.18)。

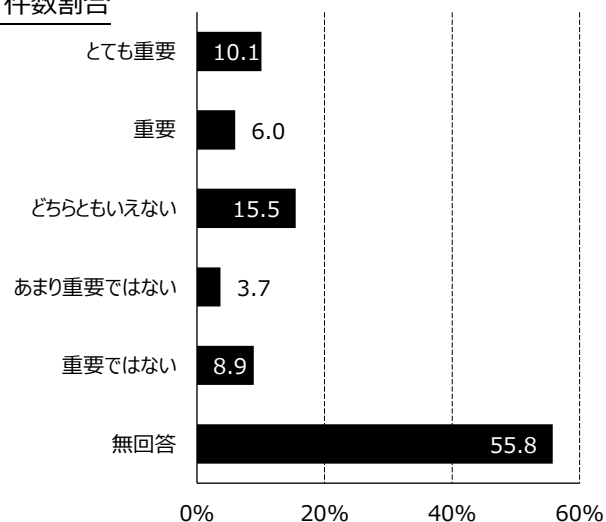
青少年エリアでは、「展示している本」が 33 件・39.3%、「文学の本」31 件・36.9%の順で多くなっている (表 13.13、グラフ 13.19)。

児童研究書エリア・開架書庫では、「児童研究書エリアの資料」が 18 件・41.9%、「開架書庫の選書コーナーの資料」14 件・32.6%であった (表 13.17、グラフ 13.20)。

【問 12-(6) あなたにとって、この図書館の児童・青少年資料サービスは、どのくらい重要ですか。
また、児童・青少年資料サービスにどのくらい満足していますか。】

■表 13.18 『児童・青少年資料サービスの重要度』件数割合

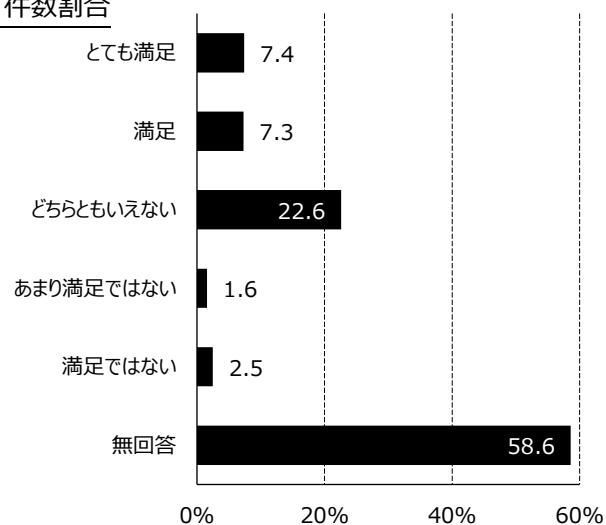
	件数	割合
とても重要	112	10.1
重要	67	6.0
どちらともいえない	173	15.5
あまり重要ではない	41	3.7
重要ではない	99	8.9
無回答	621	55.8
全体	1,113	100.0



グラフ 13.21

■表 13.19 『児童・青少年資料サービスの満足度』件数割合

	件数	割合
とても満足	82	7.4
満足	81	7.3
どちらともいえない	252	22.6
あまり満足ではない	18	1.6
満足ではない	28	2.5
無回答	652	58.6
全体	1,113	100.0



グラフ 13.22

■表 13.20 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』過年度比較

	重要度の平均	満足度の平均	満足度－重要度
平成 29 年度 (n = 1,248)	3.23	3.40	△ 0.17
平成 30 年度 (n = 1,073)	3.13	3.30	△ 0.17
令和元年度 (n = 1,113)	3.11	3.37	△ 0.26

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。

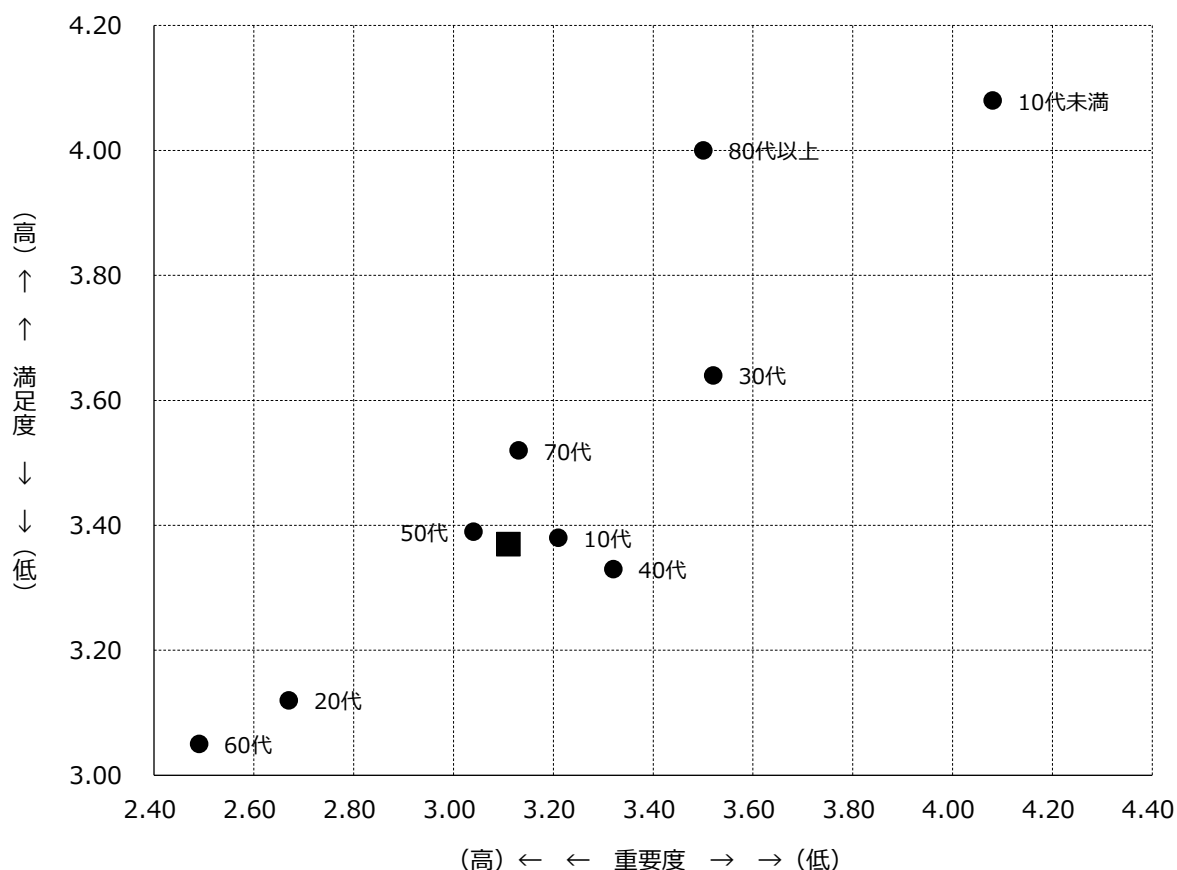
■表 13.21 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』年齢別

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
10代未満	40	4.08	4.08	0.00
10代	340	3.21	3.38	△ 0.17
20代	134	2.67	3.12	△ 0.45
30代	103	3.52	3.64	△ 0.12
40代	124	3.32	3.33	△ 0.01
50代	127	3.04	3.39	△ 0.35
60代	106	2.49	3.05	△ 0.56
70代	91	3.13	3.52	△ 0.39
80代以上	29	3.50	4.00	△ 0.50
全 体	1,113	3.11	3.37	△ 0.26

※網掛けは重要度・満足度の最も高い年齢。

※年齢の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内 ■ 印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 13.23

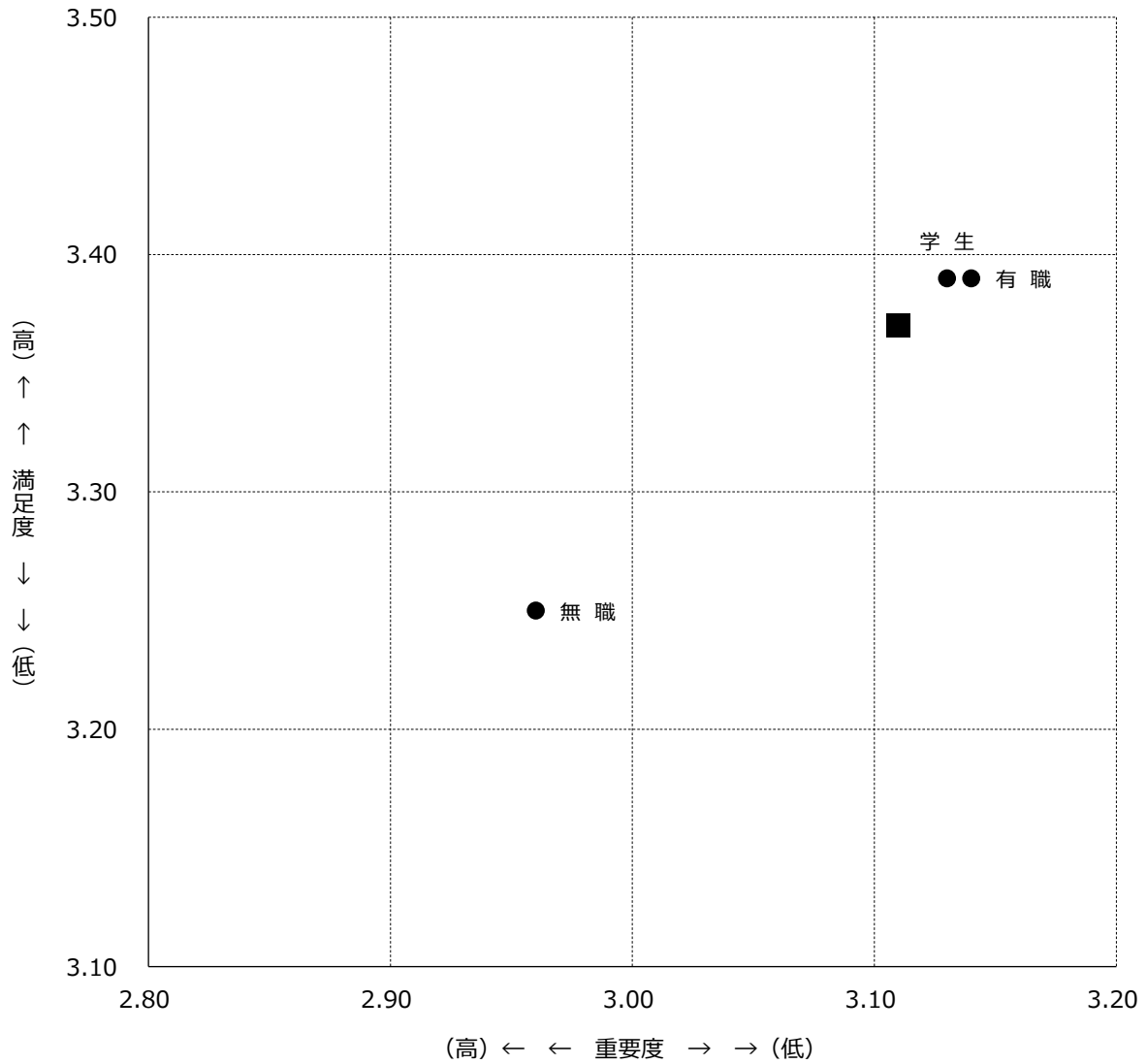
■表 13.22 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』職業別（3分類：有職・学生・無職）

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
有 職	411	3.14	3.39	△ 0.25
学 生	461	3.13	3.39	△ 0.26
無 職	211	2.96	3.25	△ 0.29
全 体	1,113	3.11	3.37	△ 0.26

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内 ■ 印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 13.23

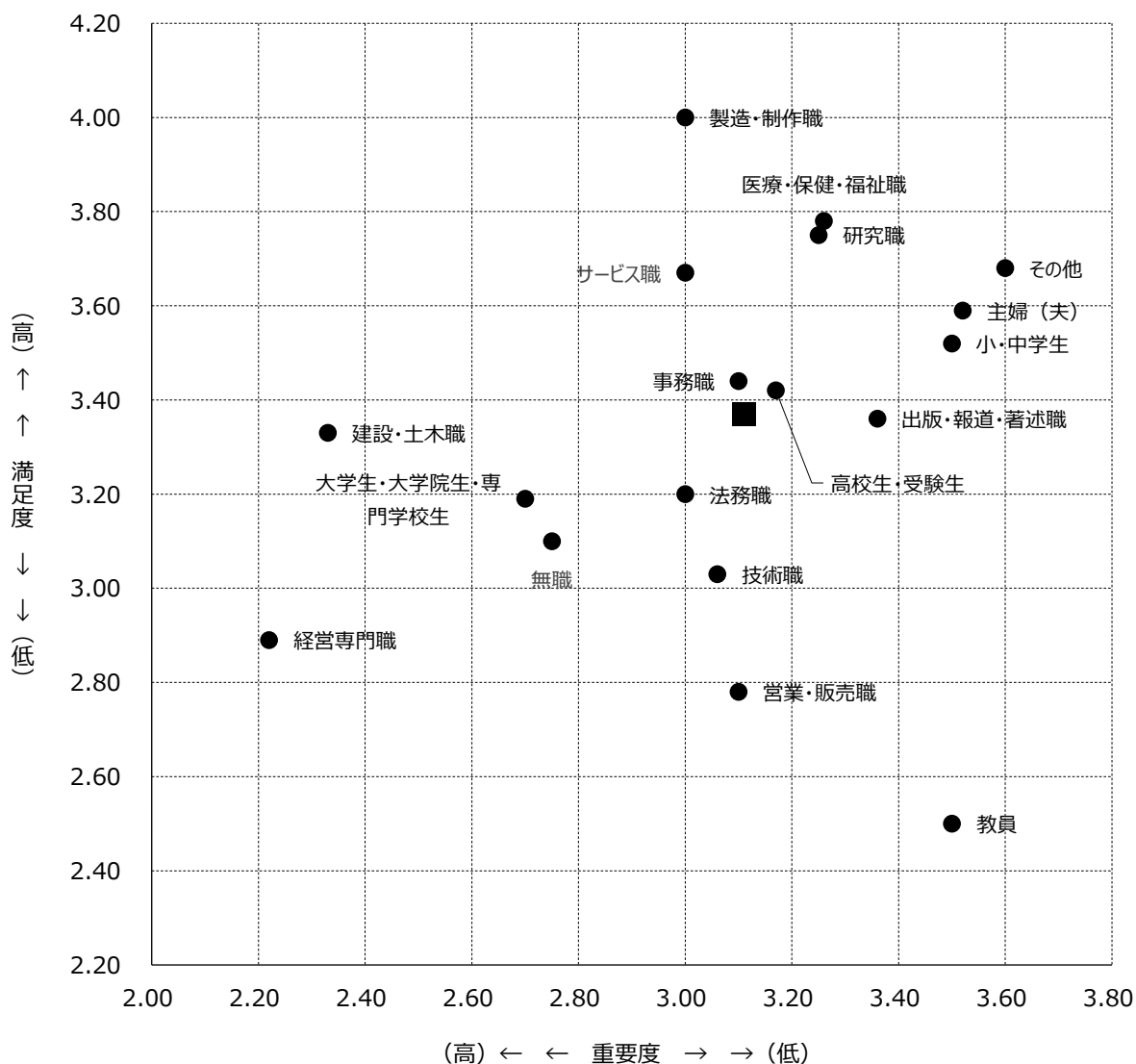
■表 13.23 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』職業別（18分類）

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
事務職	75	3.10	3.44	△ 0.34
営業・販売職	38	3.10	2.78	▼ 0.32
技術職	73	3.06	3.03	▼ 0.03
研究職	25	3.25	3.75	△ 0.50
医療・保健・福祉職	41	3.26	3.78	△ 0.52
法務職	9	3.00	3.20	△ 0.20
経営専門職	12	2.22	2.89	△ 0.67
教員	11	3.50	2.50	▼ 1.00
出版・報道・著述職	24	3.36	3.36	0.00
サービス職	35	3.00	3.67	△ 0.67
製造・制作職	11	3.00	4.00	△ 1.00
建設・土木職	9	2.33	3.33	△ 1.00
主婦（夫）	63	3.52	3.59	△ 0.07
大学生・大学院生・専門学校生	112	2.70	3.19	△ 0.49
高校生・受験生	232	3.17	3.42	△ 0.25
小・中学生	117	3.50	3.52	△ 0.02
無職	148	2.75	3.10	△ 0.35
その他	48	3.60	3.68	△ 0.08
1,113	1,113	3.11	3.37	△ 0.26

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。（「その他」は除く）

※職業の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 13.24

● 「児童・青少年資料サービス」の重要度・満足度について

「児童・青少年資料サービス」の重要度については、「とても重要」、「重要」の計は 179 件・16.1% であるのに対し、「あまり重要ではない」、「重要ではない」の計は 140 件・12.6% となっている (表 13.18、グラフ 13.21)。

年齢別では、「10 代未満」が 4.08 と最も高い (表 13.21)。

職業 3 分類別では、「学生」において 3.13、職業 18 分類別では、「主婦 (夫)」において 3.52 と最も高くなった (表 13.22、13.23)。

満足度については、「とても満足」、「満足」の計は 163 件・14.7% であるのに対し、「あまり満足ではない」、「満足ではない」の計は 46 件・4.1% となっている (表 13.19、グラフ 13.22)。

年齢別では、満足度と同様に「10 代未満」が 4.08 と最も高い (表 13.21)。

職業 3 分類別では、「有職」、「学生」がともに 3.39 で高く、職業 18 分類別では、「製造・制作職」において 4.00 と最も高くなった (表 13.22)。

過年度比較において満足度と重要度の差を見ると、平成 29 年度、30 年度はともに 0.17 満足度が上回っており、今年度は 0.26 満足度が上回っている (表 13.20)。

【問 12-(7) 児童・青少年資料サービスの満足度（5、4、3、2、1）について、お聞きします。
選んだ理由は何ですか。】

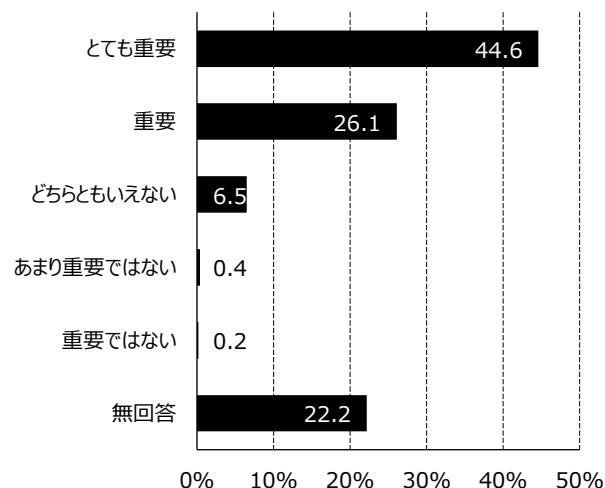
満足度		件数	主な理由
5	とても満足	82	<ul style="list-style-type: none"> ●今は利用する機会が少ないので重要度は低いですが、子供が大きくなったら連れてきたいと思い、「5」にしました。 ●自分のペースで自由に利用できる。 ●学生が学べる公共の場が少ないため、学習の場が提供されると良い。 ●良い本がたくさんある。探している本は大体開架にある。 ●児童文学の歴史、漫画の歴史について一次資料が多くあり、インターネットなどで調べても分からない情報に多く触れることができた。 ●子供の目線ですとても良いと思う。 ●面出しされている資料やポップなどがとても興味を引く形で出されており、資料を選ぶのがとても楽しかったから。 ●研究書がまとめて置かれていることはめずらしく、効率よく資料を閲覧でき、開架部分からは思わぬ出会いもある。 ●集中できる。児童文学が好き。 ●子どもの発達に重要だと思う。
4	満足	81	<ul style="list-style-type: none"> ●蔵書の量が豊富 ●見ていて懐かしいと思えるから。 ●大人に気兼ねなく子供に本の読み聞かせできるスペースがあるのは有り難い。 ●分類や配置が素晴らしい。 ●年齢枠の考え方が分かる。
3	どちらともいえない	252	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスを知らない。 ●利用したことがないのでよく分からない。 ●貸出しがあると有り難い。 ●利用したことはないが、興味があるから。 ●個人的にはあまり利用機会がないから。 ●子供がいないので分からない。他の図書館にはないサービスと思うので貴重と思う。
2	あまり満足ではない	18	<ul style="list-style-type: none"> ●探したい本がすぐに見つからない。 ●利用しない。 ●語学系の本が少なく感じた。
1	満足ではない	28	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスを知らない。利用したことがない。 ●特定の人向きだから。 ●青少年資料を必要としない。

14. 都立多摩図書館全体の重要度・満足度

【問 13 あなたにとって、この図書館は全体としてどのくらい重要ですか。また、この図書館全体にどのくらい満足していますか。】

■表 14.1 『多摩図書館全体の重要度』件数割合

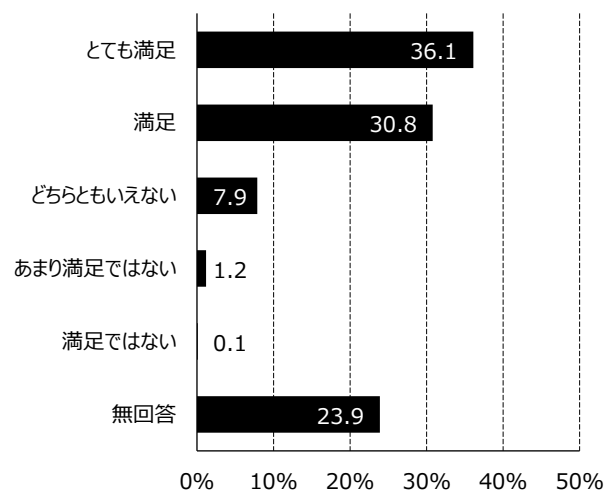
	件数	割合
とても重要	496	44.6
重要	291	26.1
どちらともいえない	72	6.5
あまり重要ではない	5	0.4
重要ではない	2	0.2
無回答	247	22.2
全 体	1,113	100.0



グラフ 14.1

■表 14.2 『多摩図書館全体の満足度』件数割合

	件数	割合
とても満足	402	36.1
満足	343	30.8
どちらともいえない	88	7.9
あまり満足ではない	13	1.2
満足ではない	1	0.1
無回答	266	23.9
全 体	1,113	100.0



グラフ 14.2

■表 14.3 『多摩図書館全体の重要度・満足度』過年度比較

	重要度の平均	満足度の平均	満足度－重要度
平成 29 年度 (n = 1,248)	4.32	4.16	▼ 0.16
平成 30 年度 (n = 1,073)	4.40	4.27	▼ 0.13
令和元年度 (n = 1,113)	4.47	4.34	▼ 0.13

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。

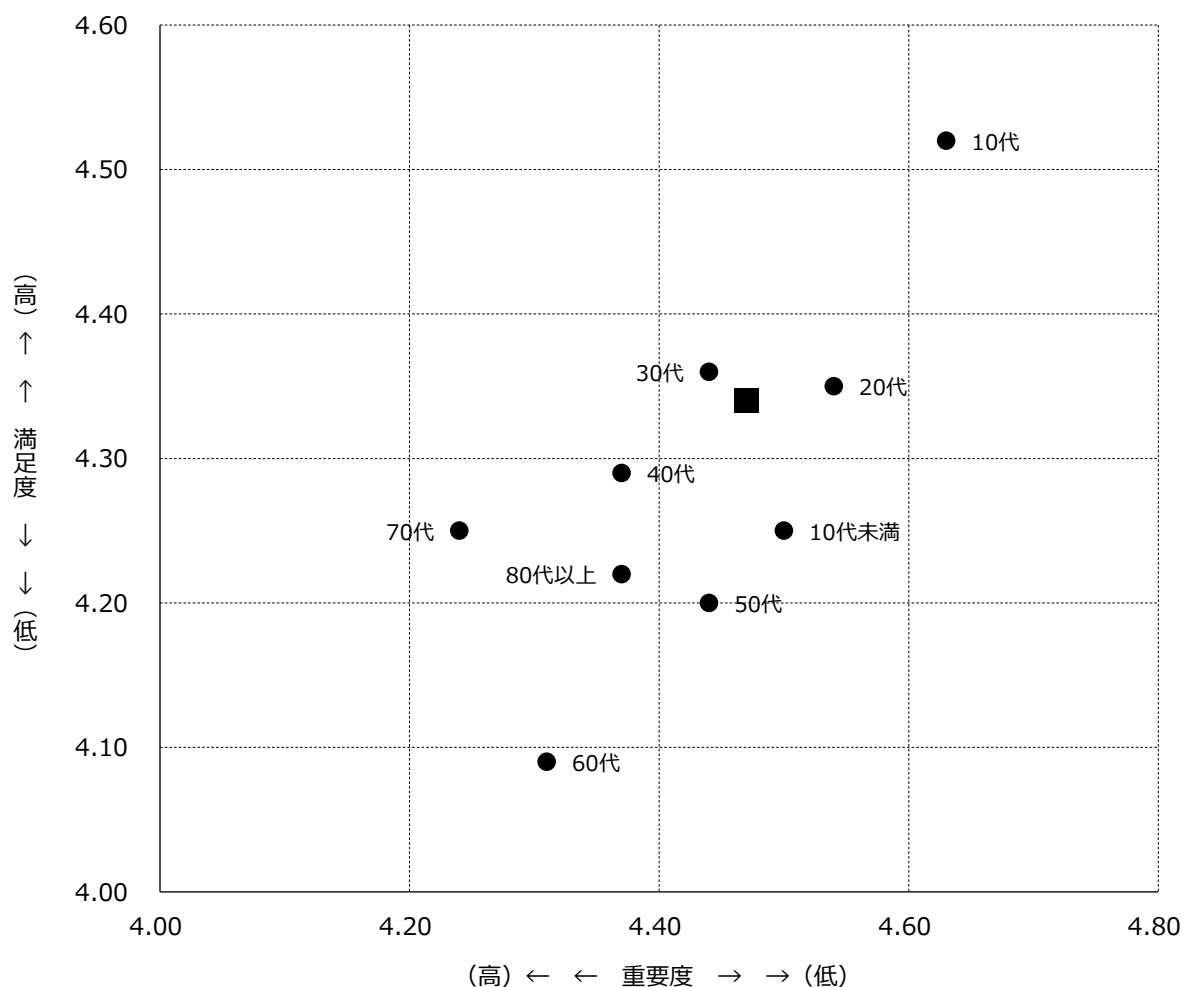
■表 14.4 『多摩図書館全体の重要度・満足度』年齢別

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
10代未満	40	4.50	4.25	▼ 0.25
10代	340	4.63	4.52	▼ 0.11
20代	134	4.54	4.35	▼ 0.19
30代	103	4.44	4.36	▼ 0.08
40代	124	4.37	4.29	▼ 0.08
50代	127	4.44	4.20	▼ 0.24
60代	106	4.31	4.09	▼ 0.22
70代	91	4.24	4.25	△ 0.01
80代以上	29	4.37	4.22	▼ 0.15
全 体	1,113	4.47	4.34	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い年齢。

※年齢の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.3

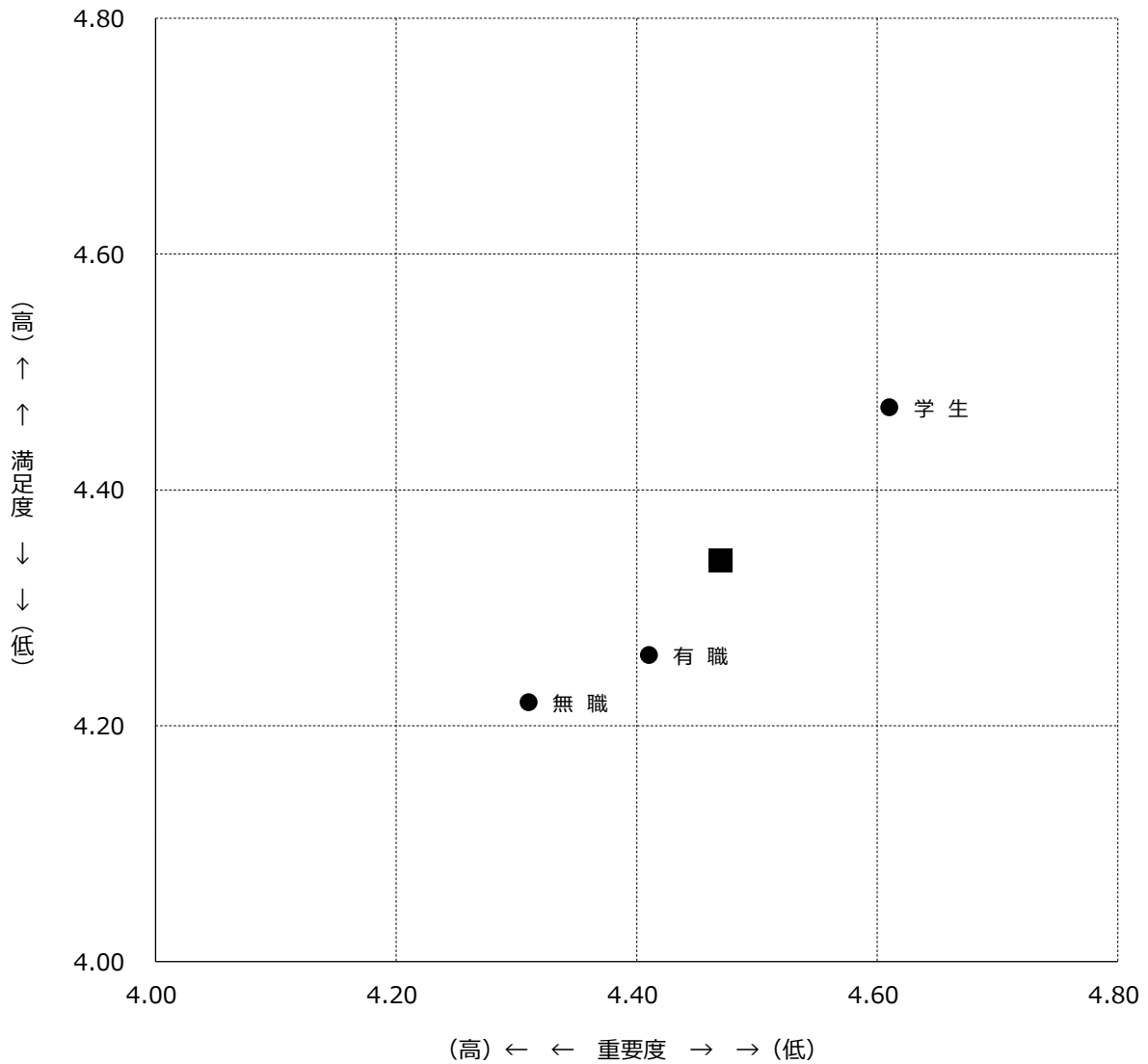
■表 14.5 『多摩図書館全体の重要度・満足度』職業別（3分類：有職・学生・無職）

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
有 職	411	4.41	4.26	▼ 0.15
学 生	461	4.61	4.47	▼ 0.14
無 職	211	4.31	4.22	▼ 0.09
全 体	1,113	4.47	4.34	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内 ■ 印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.4

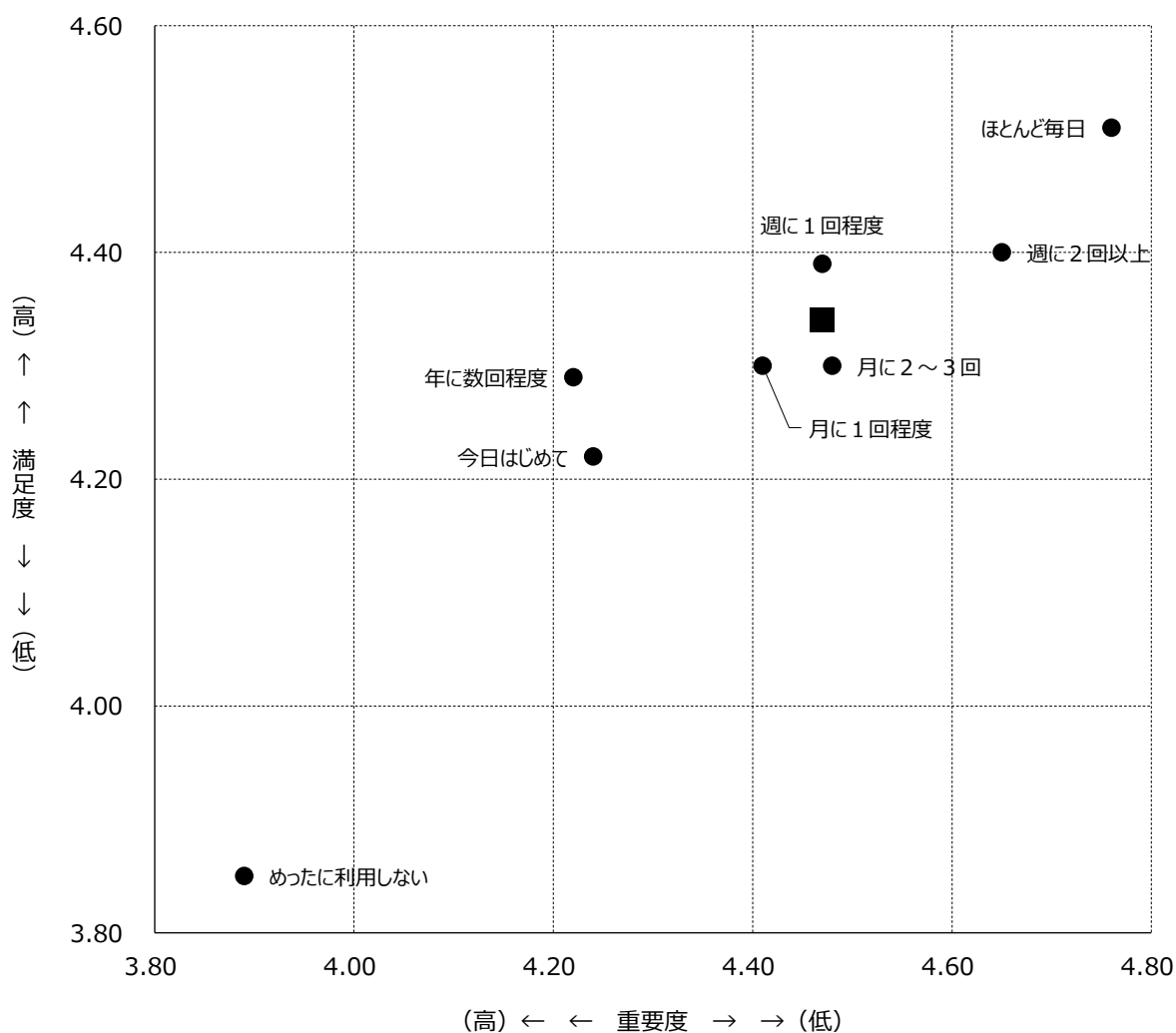
■表 14.6 『多摩図書館全体の重要度・満足度』利用頻度別

利用頻度	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
ほとんど毎日	93	4.76	4.51	▼ 0.25
週に2回以上	217	4.65	4.40	▼ 0.25
週に1回程度	183	4.47	4.39	▼ 0.08
月に2～3回	212	4.48	4.30	▼ 0.18
月に1回程度	133	4.41	4.30	▼ 0.11
年に数回程度	114	4.22	4.29	△ 0.07
めったに利用しない	37	3.89	3.85	▼ 0.04
今日はじめて	94	4.24	4.22	▼ 0.02
全 体	1,113	4.47	4.34	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い利用頻度。

※利用頻度の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内 ■ 印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.5

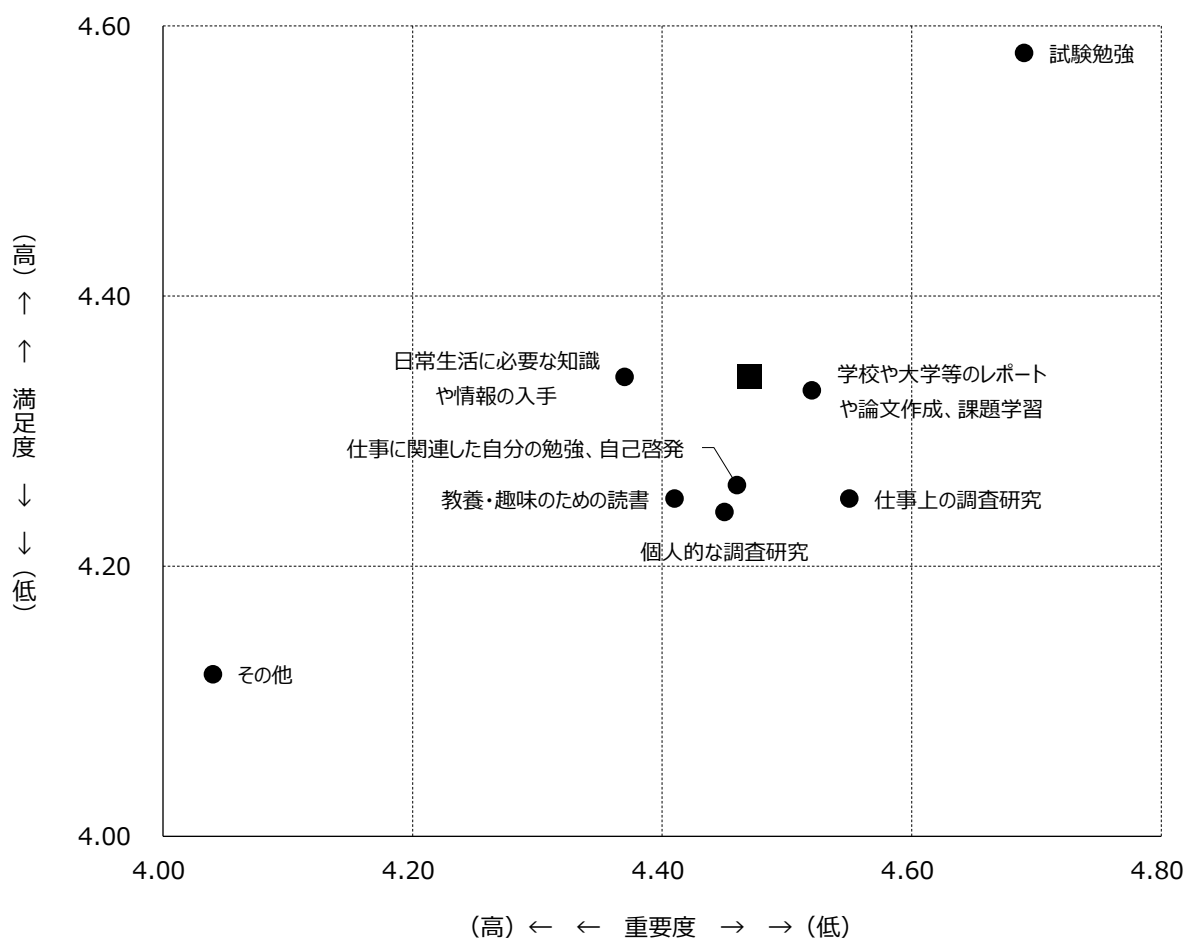
■表 14.7 『多摩図書館全体の重要度・満足度』利用目的別

利用目的	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
仕事上の調査研究	88	4.55	4.25	▼ 0.30
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	139	4.46	4.26	▼ 0.20
個人的な調査研究	76	4.45	4.24	▼ 0.21
日常生活に必要な知識や情報の入手	71	4.37	4.34	▼ 0.03
教養・趣味のための読書	179	4.41	4.25	▼ 0.16
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	105	4.52	4.33	▼ 0.19
試験勉強	282	4.69	4.58	▼ 0.11
その他	137	4.04	4.12	△ 0.08
全 体	1,113	4.47	4.34	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い利用目的。

※利用目的の無回答は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内 ■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.6

●多摩図書館全体の重要度・満足度について

多摩図書館全体の重要度については、「とても重要」と「重要」合わせて787件・70.7%、無回答を除いた場合では、787件・90.9%と約9割が「重要」としている(表14.1、グラフ14.1)。

過年度比較では、重要度の評価点平均は、平成29年度から0.15、平成30年度から0.07のゆるやかな増加をみている(表14.3)。

年齢別では「10代」の4.63が最も高く、「70代」の4.24が最も低くなっている(表14.4、グラフ14.3)。

職業3分類別では「学生」の4.61、利用頻度別では「ほとんど毎日」の4.76、そして利用目的別では「試験勉強」の4.69が、それぞれ最も高い数値となっている(表14.5、14.6、14.7、グラフ14.4、14.5、14.6)。

多摩図書館全体の満足度については、「とても満足」と「満足」合わせて745件・66.9%、無回答を除いた場合では、745件・88.0%が「満足」としている(表14.2、グラフ14.2)。

過年度比較では、満足度の評価点平均は、平成29年度から0.18、平成30年度から0.08のゆるやかな増加をみている(表14.3)。

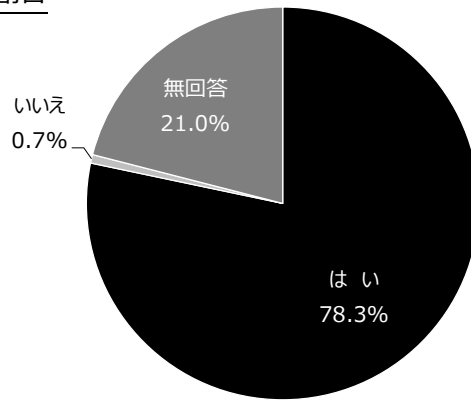
年齢別では「10代」の4.52、職業3分類では「学生」の4.47、利用頻度別では「ほとんど毎日」の4.51、そして利用目的別では「試験勉強」の4.58が、それぞれ最も高い数値となっている(表14.4、14.5、14.6、14.7、グラフ14.3、14.4、14.5、14.6)。

15. 都立多摩図書館の今後の利用意向

【問 14 今後、またこの図書館を利用したいですか。】

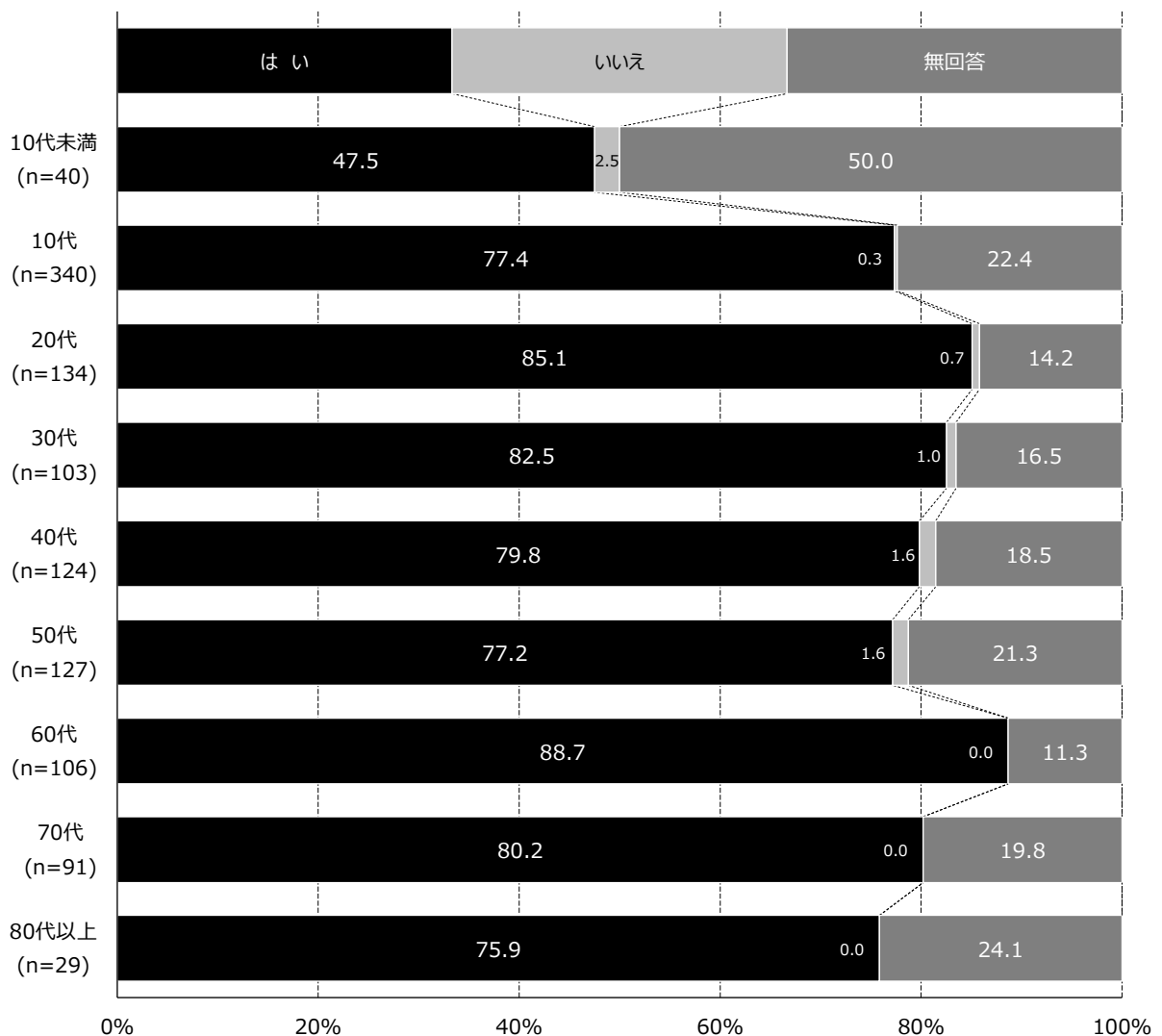
■表 15.1 『多摩図書館の今後の利用意向』件数割合

	件数	割合
はい	871	78.3
いいえ	8	0.7
無回答	234	21.0
全体	1,113	100.0

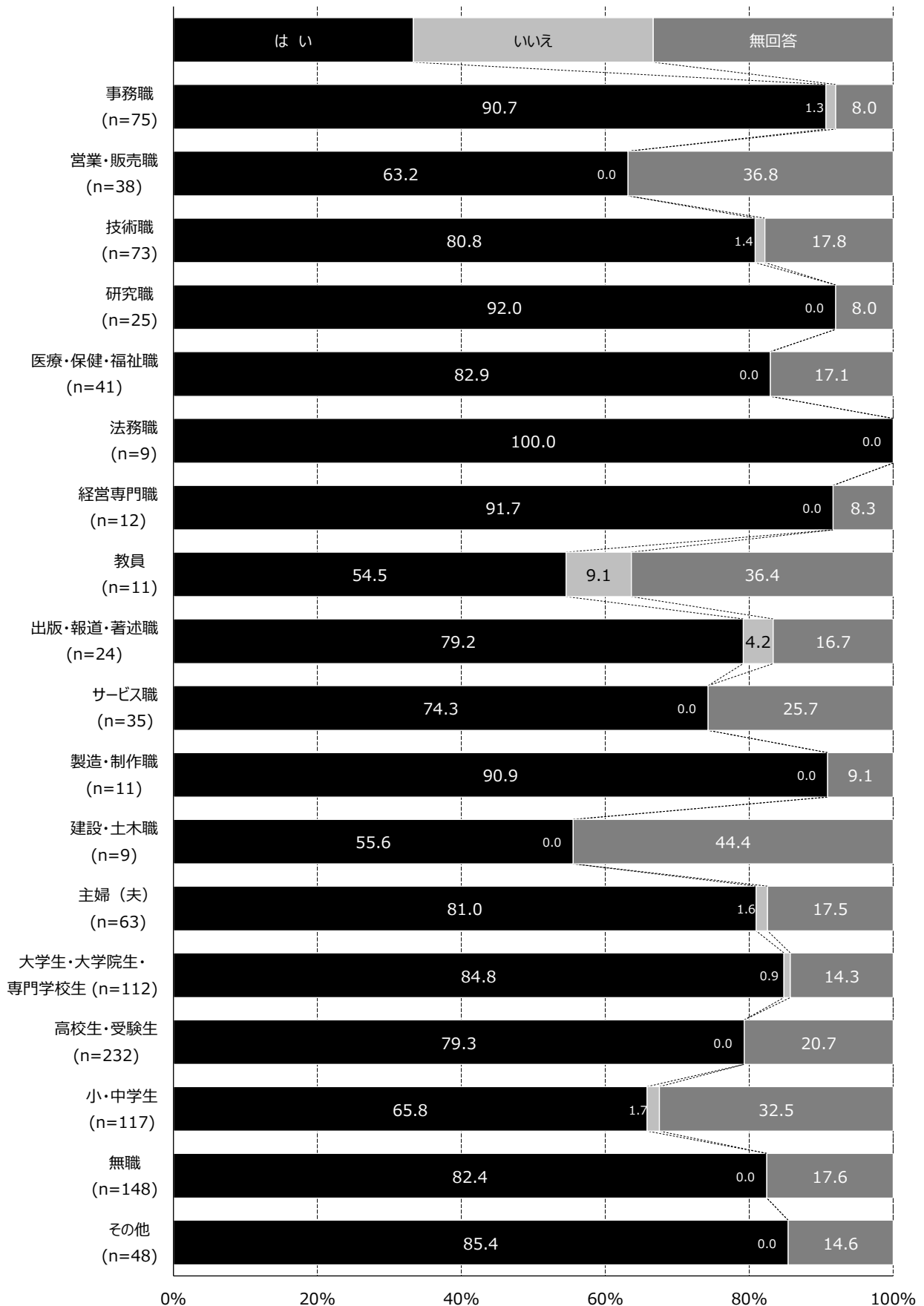


グラフ 15.1

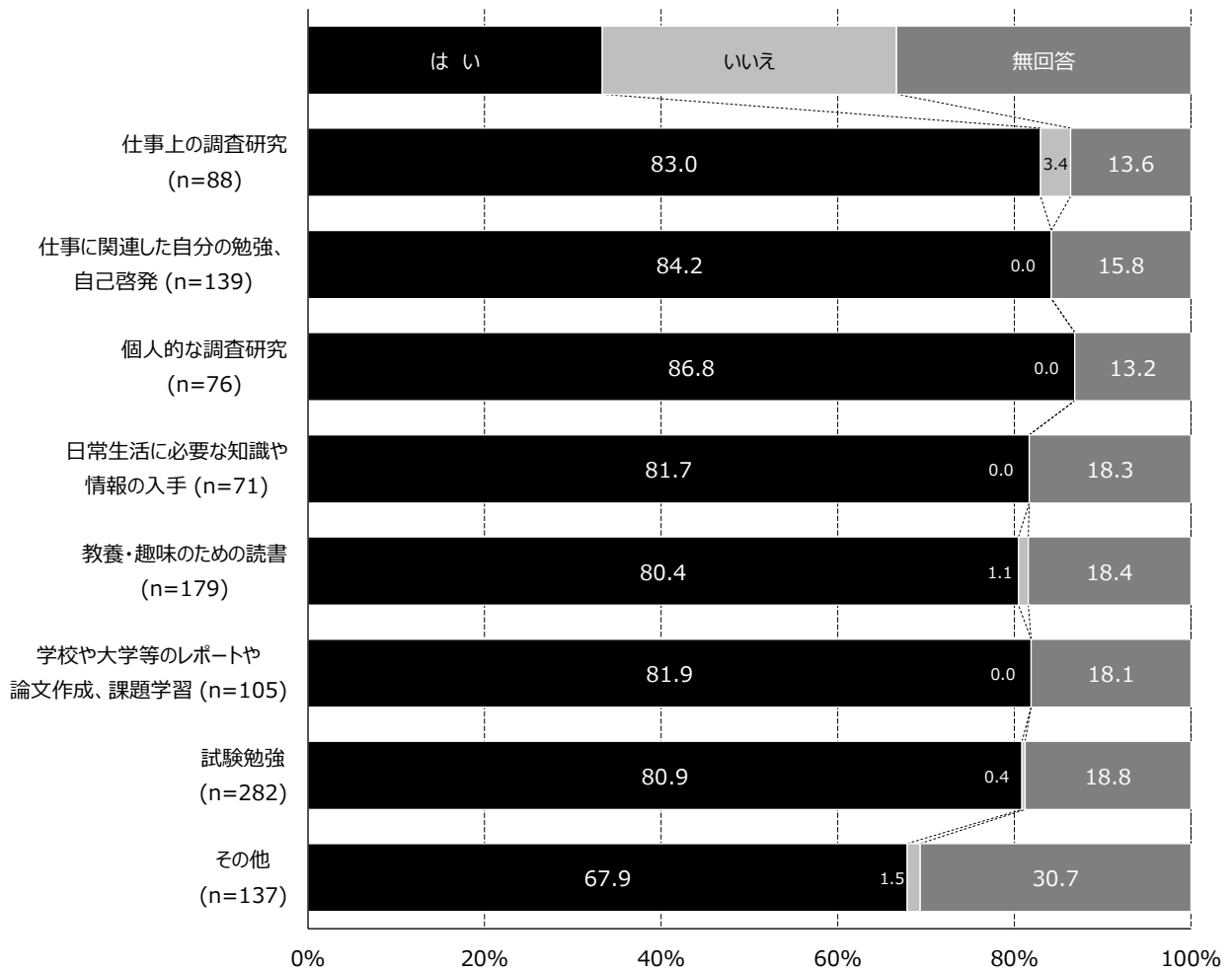
■グラフ 15.2 『多摩図書館の今後の利用意向』年齢割合



■ グラフ 15.3 『多摩図書館の今後の利用意向』職業（18 分類）割合



■グラフ 15.4 『多摩図書館の今後の利用意向』利用目的割合



●多摩図書館の今後の利用意向について

今後の利用意向については、「はい」が 871 件・78.3%、「いいえ」が 8 件・0.7%、無回答を除くと「はい」では 1,212 件・99.0%と、とても利用意向が高くなっている（表 15.1、グラフ 15.1）。

年齢別では、「60 代」で 88.7%と最も割合が高く、「10 代未満」では 47.5%と最も割合が低かった（グラフ 15.2）。

職業別では、「法務職」100.0%が最も割合が高く、「教員」54.5%が最も割合が低かった（グラフ 15.3）。

利用目的別では、「個人的な調査研究」が 86.8%と最も高く、他利用目的においても「その他」を除く全てが 8 割以上で利用意向の割合が高かった（グラフ 15.4）。

16. 都立多摩図書館に対するご意見・ご要望

【問 15 皆様のご意見を参考に、よりよい図書館サービスを展開してまいります。改善が必要な点や新たなサービスへのご要望などご意見をお願いします。】

■開館時間・閉館時間・休館日について 全 54 件

- 土日祝日の開館時間を延長してほしい (25 件)
- 開館時間を早めてほしい (7 件)
- 閉館時間を延長してほしい (10 件)
- 平日の開館時間を延長してほしい (10 件)
- 休館日の削減 (2 件)

■施設・設備について 全 50 件

- 閲覧席を増やしてほしい (14 件)
- 自習室を作ってほしい (6 件)
- 空調の調節が悪い (暑すぎ、寒すぎ) (5 件)
- カフェスペースの拡大、食堂の設置 (3 件)
- 駐車場を増やしてほしい (3 件)
- 反響する床の改善をしてほしい (3 件)
- 座席にコンセントが欲しい (2 件)
- 子供部屋を手前に設置してほしい (2 件)
- 窓際の席のルールを周知してほしい (2 件)
- 開架書庫内に机と椅子を設置してほしい (2 件)
- その他 (8 件)

■現状で満足、謝意など 全 40 件

- 快適な環境である (17 件)
- 有り難い、いつも感謝している (12 件)
- 現状で満足している (7 件)
- また来たい (4 件)

■要望 全 18 件

- 利用方法のアナウンスがほしい (1 件)
- 閲覧席のルールを周知してほしい (1 件)
- 座席の混雑をネットなどで知らせるサービスがほしい (1 件)
- コンビニを設置してほしい (1 件)
- その他 (14 件)

■利用全般について 全 24 件

- 貸出しをしてほしい (13 件)
- 複写代が高い (3 件)
- 複写に時間がかかりすぎ (2 件)
- 多種多様なイベントを多くやってほしい (2 件)
- その他 (4 件)

■不満・苦情など 全 21 件

- 小さい子供がうるさく、また走り回るのに困っている (5 件)
- 中高生がうるさい (3 件)
- 学生が席を占拠している、荷物を置き本人がいない (3 件)
- 消しゴムのカスやごみはどうしたらよいか (2 件)
- レファレンス・サービスがわからない (2 件)
- その他 (6 件)

■蔵書について 全 17 件

- 雑誌を増やしてほしい (5 件)
- 専門書を増やしてほしい (3 件)
- バックナンバーの充実を図ってほしい (2 件)
- デジタル化をすすめてほしい (2 件)
- その他 (5 件)

■職員・スタッフの対応について 全 11 件

- マナーの悪い人の注意喚起が甘い (6 人)
- マナー違反の学生に厳しくしてほしい (2 人)
- 職員の水準が低い (2 件)
- その他 (1 件)

■IT 関連について 全 8 件

- Free-Wifi が微弱で使えない (6 件)
- 検索システムが遅い (2 件)

■アンケートについて 全 6 件

- 設問が長い (6 件)

■ その他 全 26 件

- 最新号の目録がほしい (1 件)
- 書庫をオープンにしてほしい (1 件)
- 土日に青少年用の席も作ってほしい (1 件)
- 傘立てを広くしてほしい (1 件)
- その他 (22 件)

